

講義コード	U821000101	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)1		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	飯田 道子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されたテキストを用いて、学んだ文法を授業内で実践できるようにしていきます。

到達目標

初歩的なドイツ語文法の習得を目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション 挨拶
第2回	動詞の現在人称変化
第3回	名詞の性/冠詞
第4回	人称代名詞
第5回	名詞の複数形
第6回	格
第7回	動詞の現在人称変化(2)
第8回	命令形 否定表現
第9回	定冠詞類/不定冠詞類
第10回	前置詞 分離動詞
第11回	話法の助動詞
第12回	時刻の表現
第13回	不定代名詞
第14回	理解度の確認
第15回	ふりかえり
第16回	夏休みは何をした? 動詞の三基本形
第17回	過去の表現
第18回	zu不定詞
第19回	再帰代名詞
第20回	形容詞の格変化
第21回	形容詞・副詞
第22回	関係代名詞
第23回	指示代名詞
第24回	受動態
第25回	受動態
第26回	文法補足
第27回	文法補足と読解練習
第28回	文法補足
第29回	理解度の確認
第30回	ふりかえり

授業方法(対面授業の場合)

基本的な説明を行った後、練習問題を解いていきます。必要に応じて試験を行い、理解度の確認をしていきます。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業になった場合は、ZOOM授業、またはmanabaを用います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その週に習った基本事項の復習をするようにしてください。和訳、練習問題などの宿題が出された場合は、きちんと学習してください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト	35 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への積極的な参加度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内に質問を受け付け、フィードバックします。

教科書

シュリット・フエア・シュリット 三訂版,今井田・前田,三修社,2021,978-4-384-12306-7C1084

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000102	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)2		
副題	ドイツ語の仕組みを学ぶ		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の文法システムに関する基礎知識を学び、ドイツ語による情報の受信・発信の能力の基本を養う事を目的とする。

到達目標

ドイツ語の文法構造について理解し、ドイツ語を利用するための基礎を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、挨拶の言葉
第2回	つづりと発音 --- 母音の発音、ドイツ語特有の文字と発音 ---品詞分類 他
第3回	つづりと発音 --- 子音の発音 ---Lektion 1 人称代名詞と動詞の現在人称変化 (導入)
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1) 文の作り方 --- 平叙文と疑問文 ---
第5回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1)[続]文の作り方 --- 疑問詞と疑問文 ---
第6回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2) 名詞の文法上の性と人称代名詞
第7回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2)[続]名詞の文法上の性と人称代名詞、定冠詞と不定冠詞
第8回	Lektion 2 数詞、名詞と冠詞類の格変化
第9回	Lektion 3 冠詞類と人称代名詞
第10回	Lektion 3 男性弱変化名詞、名詞の複数形、人称代名詞の格変化
第11回	Lektion 4 前置詞概説、名詞の格と前置詞の結び付き、3 格と共に用いられる前置詞、4 格と共に用いられる前置詞
第12回	Lektion 4 3 格及び 4 格と共に用いられる前置詞、2 格と共に用いられる前置詞
第13回	Lektion 4 前置詞と定冠詞語尾との融合形 他
第14回	第1学期の学習項目のまとめと補足
第15回	第1学期の学習項目の理解度確認
第16回	第1学期期末試験 --- 解答と解説 ---
第17回	Lektion 5 命令法と命令文
第18回	Lektion 5 動詞の人称変化 --- 命令法 他 ---、文の作り方 --- 主文と従属文 ---
第19回	Lektion 5 補足 (wissen と kennen)Lektion 6 話法の助動詞とそれを用いた文の作り方
第20回	Lektion 6 知覚・使役表現、再帰表現、非人称表現
第21回	Lektion 7 形容詞の使い方、比較表現
第22回	Lektion 7 日付、形容詞の名詞的用法
第23回	Lektion 8 前つづりの付いた動詞
第24回	Lektion 8 補足とまとめ (前つづり 3 種)Lektion 9 完了形について
第25回	Lektion 9 完了形について(補足)、過去形について、動詞の人称変化形
第26回	Lektion 9 動詞の人称変化形について(まとめ)Lektion 10 zu 不定詞句
第27回	Lektion 11 指示代名詞と関係代名詞
第28回	Lektion 12 受動態と受動表現
第29回	Lektion 12 受動態と受動表現 (2)、まとめと補足
第30回	学習理解度の確認

授業方法(対面授業の場合)

講義 (場合によっては Webclass か Mail で課題等の受け渡しを行うこともある)

授業方法(遠隔授業の場合)

講義 (場合によっては Webclass か Mail で課題等の受け渡しを行うこともある)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回はきちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却

教科書

CD で学ぶドイツ語入門 改訂版,三瓶 慎一,白水社,2006

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000103	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)3		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の文法を丁寧に学習し練習問題をこなすことで文法の基礎をしっかりと身につけます。第2学期はドイツ語の構造や特性を十分に理解することを目指します。

到達目標

ドイツ語の文法・文構造の基礎をひと通り学び理解することにより、辞書を用いれば比較的平易なドイツ語の文章を読解・作文できるようになる。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンス、アルファベット、発音
第2回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第4回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(II)
第5回	Lektion 2 並列の接続詞
第6回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第7回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第8回	Lektion 4 名詞の複数形
第9回	Lektion 4 人称代名詞
第10回	Lektion 5 不定冠詞類
第11回	Lektion 5 定冠詞類
第12回	Lektion 6 動詞の現在人称変化(III)
第13回	Lektion 6 命令形
第14回	理解度の確認
第15回	第1学期振り返り
第16回	Lektion 7 話法の助動詞
第17回	Lektion 7 未来形
第18回	Lektion 8 前置詞
第19回	Lektion 8 再帰代名詞・再帰動詞
第20回	Lektion 9 分離動詞・非分離動詞
第21回	Lektion 9 zu不定詞句・従属の接続詞
第22回	Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形
第23回	Lektion 10 現在完了形
第24回	Lektion 11 3基本形(II)
第25回	Lektion 11 受動態
第26回	Lektion 12 形容詞の変化
第27回	Lektion 12 比較
第28回	Lektion 12 関係代名詞
第29回	理解度の確認
第30回	第2学期振り返り

授業方法(対面授業の場合)

文法を簡潔に説明したのち各自練習問題に取り組んでもらいます。受講者の理解度を確認しながら進めます。

授業方法(遠隔授業の場合)

zoomでの同時配信型授業。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業内容についての理解度をみずから確認し、特に1学期は覚えることが多いので指示された箇所をこまめに暗記し宿題に取り組む(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):15% 定期試験以外に・小テスト・提出課題・授業に臨む姿勢(予習、練習問題への取り組み姿勢など)なども評価の対象とします。なお全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題・小テストは次回までにチェックをして返却します。学期末試験は返却し解説を行います。

教科書

ゲナウ！ グラマティック ノイ,新倉真矢子他,第三書房,初,2018,9784808610494

参考文献コメント

(初回の授業で指示する)独和辞典は必ず持参してください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000104	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)4		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	川口 眞理		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語Cが聴解練習や会話練習が中心であるのに対し、ドイツ語Bでは言語としての仕組み＝初級文法の理解と定着を目指し、今後のすべてのドイツ語学習に応用できる基礎力を養います。

到達目標

初級ドイツ語文法を体系的に理解し、900語程度の語彙力を習得し、自力で簡単なテキストを読み、平易な文をドイツ語で発信する力(ドイツ語検定4～3級レベル)を身に付けることができます。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|------------------------|
| 第1回 | 辞書について アルファベット |
| 第2回 | 文字と発音－母音と子音 |
| 第3回 | 動詞の現在人称変化 語順 |
| 第4回 | seinとhaben |
| 第5回 | 名詞の性・定冠詞 |
| 第6回 | 不定冠詞 |
| 第7回 | 複数形・否定冠詞 |
| 第8回 | 不規則動詞 |
| 第9回 | 命令形・定冠詞類 |
| 第10回 | 不定冠詞類 |
| 第11回 | 人称代名詞 |
| 第12回 | 前置詞 2・3・4格支配 |
| 第13回 | 前置詞 3・4格支配 |
| 第14回 | 理解度の確認・第1学期末試験(授業内試験) |
| 第15回 | 振り返り・まとめ |
| 第16回 | 分離動詞 非分離動詞 |
| 第17回 | 再帰動詞 |
| 第18回 | 形容詞(比較表現) |
| 第19回 | 形容詞(付加語的用法)・話法の助動詞 |
| 第20回 | 話法の助動詞・未来形 |
| 第21回 | zu不定詞句 |
| 第22回 | 理解度の確認・第2学期中間試験(授業内試験) |
| 第23回 | 従属の接続詞 |
| 第24回 | 動詞の三基本形・過去形 |
| 第25回 | 現在完了形 |
| 第26回 | 受動態(動作受動) |
| 第27回 | 受動態(状態受動)・定関係代名詞 |
| 第28回 | 定・不定関係代名詞 |
| 第29回 | 理解度の確認・第2学期末試験(授業内試験) |
| 第30回 | 振り返り・まとめ |

授業計画コメント

授業進度は目安です。

授業方法(対面授業の場合)

対面授業とそれをサポートするパワーポイント資料(Webclass経由で配信)を1セットにして毎回の授業を進めていきます。毎週の課題は画像データや音声データにしてWebclassに提出していただき、対面授業で解説します。

授業方法(遠隔授業の場合)

オンデマンド型授業となります。解説つきパワーポイント資料をWebclassを通して配信し、課題を音声データや画像データにして

Webclassに提出していただき、次回資料で解答と解説を提示します。また掲示板やメールを通して質問や相談を受け付けます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

原則予習は必要ありませんが、復習は必須です。毎回課題が出ます(1~2時間程度)。ノートに手書きで全文を書き写し、ドイツ語音声を聴き発音練習をしてください。そのノートを画像データ化したものや朗読音声データをWebclassに提出していただきます。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	対面の試験ができない場合はオンライン試験かレポートでこれに替える。
学年末試験(第2学期)	25 %	対面の試験ができない場合はオンライン試験かレポートでこれに替える。
中間テスト	25 %	第2学期のみ 対面の試験ができない場合はオンライン試験かレポートでこれに替える。
レポート	5 %	夏休み課題(単語練習)
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	課題提出の回数と内容
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点とレポートで30%、3回の試験の結果70%で評価します。ただし新型コロナの感染状況による授業形態への影響次第では、上記バランスは変更される可能性があります。また対面での試験がオンライン試験かレポートに変わる可能性もあります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は次回の対面授業ないしパワーポイント資料内で解説の上、解答を提示します。第1学期末試験と第2学期中間試験は講評の上返却します。最終授業日に行われる第2学期末試験は返却されません。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール CD付,上野成利/本田雅也,白水社,三訂,2018,9784560064207

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業への出席や課題提出が困難な状況が続く場合は速やかに相談してください。学期末になってのいきなりの相談には原則応じられません。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000105	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)5		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 遠隔授業		

授業概要

ドイツ語を運用する際、必要となる文法事項の解説、確認を行います。

到達目標

ドイツ語の文法の基礎を理解し、それを習得することにより、ドイツ語を運用できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語の文字と発音(1)
第2回	ドイツ語の文字と発音(2)
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2)
第5回	名詞の性と格(1)
第6回	名詞の性と格(2)、複数形
第7回	定冠詞類
第8回	不定冠詞類
第9回	否定冠詞
第10回	人称代名詞の格変化
第11回	非人称の es
第12回	不規則動詞
第13回	命令形
第14回	まとめ
第15回	前置詞(1)
第16回	前置詞(2)
第17回	分離動詞
第18回	接続詞
第19回	話法の助動詞、未来形(1)
第20回	話法の助動詞、未来形(2)
第21回	動詞の3基本形、過去(1)
第22回	動詞の3基本形、過去(2)
第23回	現在完了形(1)
第24回	現在完了形(2)
第25回	受動文
第26回	形容詞の用法
第27回	比較表現
第28回	再帰代名詞
第29回	zu 不定詞
第30回	関係代名詞

授業方法(対面授業の場合)

講義ならびに演習

授業方法(遠隔授業の場合)

オンデマンド型授業

WebClass を通して教材を配信します。

課題提出によって到達度の確認が行われます。

また、WebClass の出席確認機能によって、出席確認がなされます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読み、不明な事柄の有無を確認してください。
また、練習問題の解答を考えてみてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	遠隔授業の場合はレポート
学年末試験(第2学期)	30 %	遠隔授業の場合はレポート
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	遠隔授業の場合はレポート
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	遠隔授業の場合はレポート
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、課題提出および課題によって確認される理解度がポイントとなります。
小テストは進度に応じて実施します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて返却します。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法[改訂版],萩原耕平 山崎泰孝,白水社,2019,9784560064245

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向けとしては以下の辞書があります。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000106	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)6		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。ドイツ語は英語と比べれば、文法上の例外が少ない言葉です。基礎をしっかりと身につけると、自分でドイツ語が自由に読めるようになります。「ドイツ語文法」と言うと堅く聞こえますが、「ドイツ語を読むコツ」と考えて、楽しく身につけましょう。教科書は「PANORAMA Deutsch」です。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されています。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、短いセンテンスを覚えながら、ドイツ語の基礎力を身につけます。

授業内容

実施回 内容

- | 実施回 | 内容 |
|------|--------------------------------|
| 第1回 | 第1回目の授業は、履修者の決定。ドイツ語の発音を勉強します。 |
| 第2回 | 第1課 動詞の現在人称変化 |
| 第3回 | 第2課 名詞の性/冠詞の格変化 |
| 第4回 | 第3課 不規則変化動詞/命令形 |
| 第5回 | 第3課 明日の予定を尋ねる |
| 第6回 | 第4課 定冠詞類・不定冠詞類 |
| 第7回 | 第4課 買い物に行く(1) |
| 第8回 | 第5課 複数形/人称代名詞 |
| 第9回 | 第5課 買い物に行く(2) |
| 第10回 | 第6課 前置詞の格支配 |
| 第11回 | 第6課 週末の予定を尋ねる |
| 第12回 | 第7課 形容詞の格変化 |
| 第13回 | 第7課 趣味について尋ねる |
| 第14回 | 理解度の確認 |
| 第15回 | まとめ |
| 第16回 | 第8課 話法の助動詞/未来形 |
| 第17回 | 第9課 分離動詞/接続詞と副文 |
| 第18回 | 第9課 駅の窓口で尋ねる |
| 第19回 | 第10課 zu不定詞/再帰代名詞 |
| 第20回 | 第10課 休暇の計画を尋ねる |
| 第21回 | 第11課 動詞の3基本形/過去形 |
| 第22回 | 第11課 旅の体験を語る(1) |
| 第23回 | 第12課 現在完了形/非人称表現 |
| 第24回 | 第12課 旅の体験を語る(2) |
| 第25回 | 第13課 受動態/比較表現 |
| 第26回 | 第13課 意見を交換する(1) |
| 第27回 | 第14課 関係代名詞・関係副詞 |
| 第28回 | 第14課 意見を交換する(2) |
| 第29回 | 理解度の確認 |
| 第30回 | まとめ |

授業計画コメント

対面授業を予定しています。対面授業ができない場合には、Zoomで行います。またWebClassで課題を提出してもらったこともあります。

授業方法(対面授業の場合)

授業は、まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。毎回宿題をだしますので、家で考えて、たくさんの「？」を持って授業に来てください。「？」が解決したとき、よく頭に入ります。ほぼ毎回、小テストをします。また各課の終わりにまとめテストをします。成績はまとめテストと普段の小テストでつけます。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業となった場合には、Zoomで対面授業と同じ内容を勉強します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分程度、その週に習った文章を繰り返し暗記してください。基礎文章を長期記憶に定着させ、小テストに臨んでください。その他に、和訳、練習問題などの宿題を出しますので、準備をしてきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		対面形式が行えない場合は期末試験45%
学年末試験(第2学期)		対面形式が行えない場合は学年末試験45%
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10%(授業時の積極性とペア練習の参加態度)、毎回の小テストと各課のまとめテストを合計して90%です。全授業回数数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後にフィードバックします。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[ver.3.0],上野成利、本田雅也,白水社,三訂,2018,9784560064207

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000107	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)7		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。ドイツ語文法の基礎を一通り学びます。

到達目標

ドイツ語の基礎文法を学び、活用できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定。授業の進行についてのガイダンス。ドイツ語の文字や発音についての説明。
第2回	動詞の現在人称変化(1)・定動詞の位置
第3回	名詞の性・複数形・格
第4回	動詞の現在人称変化(2)
第5回	前置詞の格支配(1)
第6回	定冠詞類の格変化
第7回	前置詞の格支配(2)
第8回	不定冠詞類の格変化
第9回	分離動詞・非分離動詞
第10回	人称代名詞・命令形
第11回	話法の助動詞
第12回	未来形
第13回	再帰代名詞・再帰動詞
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	前期学習事項の復習
第17回	副文
第18回	形容詞の格変化
第19回	zu不定詞・zu不定詞句
第20回	形容詞の名詞化
第21回	動詞の3基本形と過去形
第22回	動詞の3基本形と過去形
第23回	完了形
第24回	完了形
第25回	比較
第26回	関係代名詞
第27回	受動文
第28回	既習事項の復習
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

第1学期は1～8課、第2学期は9課～15課を学ぶ予定です。履修者の理解度によって進度は変更します。

授業方法(対面授業の場合)

授業では新出文法事項の説明を行います。教科書にはその文法事項を用いた練習問題があり授業中に答え合わせ・解説を行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

WebClass上に対面授業と同内容の動画をアップロードするので、それを見て自習し該当箇所の練習課題を提出することになります。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、授業内で指定された練習問題を解いてきてもらいます。これが復習になります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	WebClass上のテストに代替
学年末試験(第2学期)	35 %	WebClass上のテストに代替
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	WebClass上の課題に代替
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	WebClass上の課題に代替
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学んだ内容が小テスト・試験で出題されます。
授業内で指名されて宿題をやっていなかった場合などに平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

ドイツ語文法の基礎[改訂版],成田節 / 櫻井麻美,同学社,2018,978-4-8102-0891-7

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,第3版,2010,978-4-384-01234-7

クラウン独和辞典,濱川祥枝、信岡資生、新田春夫,三省堂,第5版,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。特に指定はしませんが必ず辞書は買って下さい。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000108	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)8		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 遠隔授業		

授業概要

ドイツ語を運用する際、必要となる文法事項の解説、確認を行います。

到達目標

ドイツ語の文法の基礎を理解し、それを習得することにより、ドイツ語を運用できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語の文字と発音(1)
第2回	ドイツ語の文字と発音(2)
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2)
第5回	名詞の性と格(1)
第6回	名詞の性と格(2)、複数形
第7回	定冠詞類
第8回	不定冠詞類
第9回	否定冠詞
第10回	人称代名詞の格変化
第11回	非人称の es
第12回	不規則動詞
第13回	命令形
第14回	まとめ
第15回	前置詞(1)
第16回	前置詞(2)
第17回	分離動詞
第18回	接続詞
第19回	話法の助動詞、未来形(1)
第20回	話法の助動詞、未来形(2)
第21回	動詞の3基本形、過去(1)
第22回	動詞の3基本形、過去(2)
第23回	現在完了形(1)
第24回	現在完了形(2)
第25回	受動文
第26回	形容詞の用法
第27回	比較表現
第28回	再帰代名詞
第29回	zu 不定詞
第30回	関係代名詞

授業方法(対面授業の場合)

講義ならびに演習

授業方法(遠隔授業の場合)

オンデマンド型授業

WebClass を通して教材を配信します。

課題提出によって到達度の確認が行われます。

また、WebClass の出席確認機能によって、出席確認がなされます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読み、不明な事柄の有無を確認してください。
また、練習問題の解答を考えてみてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	遠隔授業の場合はレポート
学年末試験(第2学期)	30 %	遠隔授業の場合はレポート
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	遠隔授業の場合はレポート
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	遠隔授業の場合はレポート
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、課題提出および課題によって確認される理解度がポイントとなります。
小テストは進度に応じて実施します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて返却します。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法[改訂版],萩原耕平 山崎泰孝,白水社,2019,9784560064245

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向けとしては以下の辞書があります。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000109	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)9		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 遠隔授業		

授業概要

1年間で、ドイツ語文法の基礎を習得します。ドイツ語は、英語と似たところが多いことばですが、一方で、英語とも日本語とも違ったさまざまな特徴をもっています。ドイツ語を知ることによって、英語や日本語をもまた違った目で見ることができるようになるでしょう。

到達目標

- ・ドイツ語技能検定(独検)4級合格程度の基礎ドイツ語力を身につけることをめざします。
- ・辞書を頼りに、簡単な文章ならば自力でドイツ語を読みとけるようになることをめざします。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	つづりと発音
第2回	動詞の現在人称変化
第3回	出会いと自己紹介
第4回	名詞の性/冠詞の格変化
第5回	家族について尋ねる
第6回	不規則変化動詞/命令形
第7回	明日の予定を尋ねる
第8回	定冠詞類・不定冠詞類
第9回	買い物に行く(1)
第10回	複数形/人称代名詞
第11回	買い物に行く(2)
第12回	前置詞の格支配
第13回	週末の予定を尋ねる
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	形容詞の格変化
第17回	趣味について尋ねる
第18回	話法の助動詞/未来形
第19回	昼食を食べに行く
第20回	分離動詞/接続詞と副文
第21回	駅の窓口で尋ねる
第22回	zu不定詞/再帰代名詞
第23回	休暇の計画を尋ねる
第24回	動詞の3基本形/過去形
第25回	旅の体験を語る
第26回	現在完了形/非人称表現
第27回	受動/比較表現
第28回	関係代名詞/関係副詞
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方法(対面授業の場合)

教科書の文法事項を説明した上で、受講者に予習してきた練習問題の解答を発表してもらい、解説を加えるという形で進めます。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを用いたリアルタイム遠隔授業を行います。動画は用いず、画面共有と音声のやり取りで進めますので、必要なデータ通信量はさほど多くないですが(1回につき100-150MB程度)、受講希望者はあらかじめ必要な環境を整えておいてください。

準備学習(予習・復習)

毎回、教科書の指定箇所の予習(練習問題・読み物など)が必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三訂版],上野成利・本田雅也,白水社,2019,978-4-560-06420-7

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000110	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)10		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	青木 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 対面授業		

授業概要

はじめてドイツ語を学ぶ履修者を対象とした初級ドイツ語文法の講座です。発音から接続法までの項目を学んでいきます。各課の練習問題を通して、初級文法の重要事項を身につけます。

到達目標

基礎文法を習得することで、辞書を使いながら、平易なドイツ語の文章が読めるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション:ドイツ語について
第2回	アルファベットと発音
第3回	第一課:規則変化動詞
第4回	第一課:動詞の位置と語順
第5回	第二課:seinとhaben
第6回	第二課:名詞の性と数
第7回	第三課:名詞の格
第8回	第三課:冠詞と名詞の格変化
第9回	第四課:不規則変化動詞
第10回	第四課:命令形
第11回	第五課:定冠詞類と不定冠詞類
第12回	第五課:指示代名詞と疑問代名詞
第13回	第六課:人称代名詞の格変化と前置詞の格支配
第14回	第七課:話法の助動詞
第15回	理解度の確認
第16回	第八課:分離動詞
第17回	第八課:再帰動詞
第18回	第九課:形容詞の格変化と形容詞の名詞化
第19回	第十課:動詞の三基本形
第20回	第十課:過去人称変化
第21回	第十一課:現在完了形
第22回	第十一課:過去完了形
第23回	第十二課:定関係代名詞
第24回	第十二課:不定関係代名詞
第25回	第十三課:比較
第26回	第十三課:現在分詞とzu不定詞
第27回	第十四課:受動
第28回	第十四課:状態受動
第29回	第十五課:接続法
第30回	理解度の確認

授業方法(対面授業の場合)

文法事項の説明は教師が行い、履修者に練習問題を担当してもらいます。

授業方法(遠隔授業の場合)

項目に応じて、zoomを使用した同時配信型か、webclassを使用した資料提供型で進めていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 予め各課の文法解説を読んで不明な点を確認し、練習問題をノートに記しておくこと: 60分

復習: 授業で学んだことをノートにまとめておくこと: 30分

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への積極的参加態度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

第一学期の試験の答えは返却し、授業内で解説を行います。

小テストは返却し、解答を提示します。

教科書

わかるぞドイツ語！ みえるぞドイツ！ WEB改訂版, 春日正男ほか, 朝日出版社, WEB改訂, 2022, 978-4-255-25451-7

教科書コメント

教科書を使って授業を進めていきますので、必ず購入しておくこと。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000111	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)11		
副題	ドイツ語初級文法		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高田 博行		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 遠隔授業		

授業概要

ドイツ語圏文化学科1年次を対象としたクラスです。ABCの発音から始まって、動詞の変化、冠詞の変化、名詞の変化、形容詞の変化、前置詞の用法、現在完了形、未来形、受動態、関係代名詞等へとステップアップし、文の作り方を学びます。

到達目標

これからドイツ語を4年間学習していくにあたって、基礎となる初級レベルの文法的知識を習得し、初級レベルの文法的知識を習得し、基本的なドイツ語の文章であれば独力で読み・書き・話し・聞き取ることができるようになることがこの授業の目的です。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入(授業の進め方、一般的注意、辞書や参考書について)
第2回	ドイツ語のアルファベット、発音
第3回	動詞の現在人称変化 I
第4回	定冠詞と名詞
第5回	名詞の複数形
第6回	定冠詞類
第7回	不定冠詞(類)
第8回	動詞の現在人称変化 II
第9回	命令形
第10回	人称代名詞
第11回	前置詞
第12回	形容詞の格変化
第13回	動詞の三基本形
第14回	授業のまとめ
第15回	到達度の確認
第16回	動詞の過去人称変化
第17回	動詞の現在完了形
第18回	形容詞の比較変化
第19回	話法の助動詞と未来形
第20回	従属接続詞と副文
第21回	分離動詞と非分離動詞(1)
第22回	分離動詞と非分離動詞(2)
第23回	zu 不定詞句
第24回	再帰動詞
第25回	分詞
第26回	指示代名詞
第27回	関係代名詞
第28回	受動態
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度の確認

授業計画コメント

わからないことがあったら、後回しにせず、いつでも質問してください。

授業方法(対面授業の場合)

各学期に何度か対面授業をする可能性があります。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業でZOOMによる同時配信型授業を行います。資料等の配布は、LMS(manaba)を用います。responによって出席確認をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回の授業内容について復習するとともに、次回の授業内容について教科書やプリントの該当箇所を予習すること(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

文法項目が理解できているか、基本的な語彙を習得しているかを確認します。授業中には、発音練習も行い、発音とイントネーションのチェックも行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストについては、次回の授業の最初に間違いやすい点などについて解説します。

教科書

新・文法システム15,西本義彦・高田博行・Angelika Nishimoto,同学社,2014,978-4-8102-0881-8

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000112	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)12		
副題	ドイツ語初級文法		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	岡本 順治		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 遠隔授業		

授業概要

ドイツ語圏文化学科1年次を対象としたクラスです。ABCの発音から始まって、動詞の変化、冠詞の変化、名詞の変化、形容詞の変化、前置詞の用法、現在完了形、未来形、受動態、関係代名詞等へとステップアップし、文の作り方を学びます。

到達目標

これからドイツ語を4年間学習していくにあたって、基礎となる初級レベルの文法的知識を習得し、初級レベルの文法的知識を習得し、基本的なドイツ語の文章であれば独力で読み・書き・話し・聞き取ることができるようになることがこの授業の目的です。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入(授業の進め方、一般的注意、辞書や参考書について)
第2回	ドイツ語のアルファベット、発音
第3回	動詞の現在人称変化 I
第4回	定冠詞と名詞
第5回	名詞の複数形
第6回	定冠詞類
第7回	不定冠詞(類)
第8回	動詞の現在人称変化 II
第9回	命令形
第10回	人称代名詞
第11回	前置詞
第12回	形容詞の格変化
第13回	動詞の三基本形
第14回	授業のまとめ
第15回	到達度の確認
第16回	動詞の過去人称変化
第17回	動詞の現在完了形
第18回	形容詞の比較変化
第19回	話法の助動詞と未来形
第20回	従属接続詞と副文
第21回	分離動詞と非分離動詞(1)
第22回	分離動詞と非分離動詞(2)
第23回	zu 不定詞句
第24回	再帰動詞
第25回	分詞
第26回	指示代名詞
第27回	関係代名詞
第28回	受動態
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度の確認

授業計画コメント

わからないことがあったら、後回しにせず、いつでも質問してください。

授業方法(対面授業の場合)

各学期に何度か対面授業をする可能性があります。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業でZOOMによる同時配信型授業を行います。資料等の配布は、LMS(Moodle)を用います。responによって出席確認をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回の授業内容について復習するとともに、次回の授業内容について教科書やプリントの該当箇所を予習すること(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

文法項目が理解できているか、基本的な語彙を習得しているかを確認します。授業中には、発音練習も行い、発音とイントネーションのチェックも行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストについては、次回の授業の最初に間違いやすい点などについて解説します。

教科書

『新・文法システム15』,西本義彦・高田博行・Angelika Nishimoto,同学社,2014,978-4-8102-0881-8

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

履修者制限あり

第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000113	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)13		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

この授業ではドイツ語を初めて学ぶ人を対象に、1年間を通して基礎文法を勉強していきます。語学にはどうしても反復練習が必要になってきます。ですから、なるべく多くの練習問題を解いていく予定ですが、ドイツに関する情報や私自身のドイツでの体験談なども適宜交えながら、できるだけ無理なく楽しく授業していきたいと思えます。

到達目標

- ・ 名詞の性や格、動詞の人称変化、構文の仕組みなど、ドイツ語文法における基礎的な知識を身につけること
- ・ ドイツ語辞書を適切に活用できるようになること

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語のアルファベットと発音
第2回	動詞の現在人称変化
第3回	seinとhaben
第4回	定動詞の位置
第5回	名詞と定冠詞
第6回	名詞の複数形
第7回	不定冠詞と所有冠詞
第8回	否定冠詞とnicht
第9回	数詞
第10回	ドイツ語の不規則動詞
第11回	命令形
第12回	分離動詞
第13回	前期の復習
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	1学期の復習
第17回	前置詞(1): 特定の格と結びつく前置詞
第18回	前置詞(2): 3・4格支配の前置詞
第19回	動詞の3基本形
第20回	完了形
第21回	形容詞(1): 形容詞の格変化と冠詞の関係
第22回	形容詞(2): 序数
第23回	比較表現
第24回	接続詞
第25回	再帰動詞
第26回	zu不定詞
第27回	関係代名詞
第28回	2学期の復習
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

グループワークを中心として進めていきます。疑問があったら1人で抱え込まずに共有し、お互いに知識をシェアして助け合いながら課題に取り組んでください。教員は最大限サポートしますので、気軽に声をかけてください。いい質問の場合は平常点として加算もします。

授業方法(遠隔授業の場合)

WebClassを通じたオンデマンド授業を行います。
適宜課題を出しますので、期日内に提出してください。
試験は期末課題を代替とします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: やる予定のレッスンの説明を読み、自分なりに説明できるよう準備してくる。 (30分)

復習: 授業内容を振り返り、不明なところがないか確認すること。あれば、それをきちんとした質問の形で次回以降にアウトプットできるようにしておくこと。 (30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分 (%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	オンライン形式によるテスト課題
学年末試験(第2学期)	30 %	オンライン形式によるテスト課題
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	各回ごとに課される課題に対する評価
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

対面形式での実施が困難になった場合は、備考欄に記載の評価方法とします。

期末試験では、学期内で扱った学習事項を範囲とした筆記試験を行います。

平常点では出席状況のほか、授業中に指示された課題に対する取り組みや成果も評価対象とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。

試験は採点后、返却と解説を行います。

教科書

改訂版・ドイツ文法ガイドA-Z,保阪良子,同学社,改訂,2010,9784810208689

参考文献コメント

ドイツ語辞書は必ず購入・持参すること。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

WebClass上の掲示板やメッセージ機能を通じて連絡をしてください。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000114	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)14		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の文法を丁寧に学習し練習問題をこなすことで文法の基礎をしっかりと身につけます。第2学期はドイツ語の構造や特性を十分に理解することを目指します。

到達目標

ドイツ語の文法・文構造の基礎をひと通り学び理解することにより、辞書を用いれば比較的平易なドイツ語の文章を読解・作文できるようになる。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンス、アルファベット、発音
第2回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第4回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(II)
第5回	Lektion 2 並列の接続詞
第6回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第7回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第8回	Lektion 4 名詞の複数形
第9回	Lektion 4 人称代名詞
第10回	Lektion 5 不定冠詞類
第11回	Lektion 5 定冠詞類
第12回	Lektion 6 動詞の現在人称変化(III)
第13回	Lektion 6 命令形
第14回	理解度の確認
第15回	第1学期振り返り
第16回	Lektion 7 話法の助動詞
第17回	Lektion 7 未来形
第18回	Lektion 8 前置詞
第19回	Lektion 8 再帰代名詞・再帰動詞
第20回	Lektion 9 分離動詞・非分離動詞
第21回	Lektion 9 zu不定詞句・従属の接続詞
第22回	Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形
第23回	Lektion 10 現在完了形
第24回	Lektion 11 3基本形(II)
第25回	Lektion 11 受動態
第26回	Lektion 12 形容詞の変化
第27回	Lektion 12 比較
第28回	Lektion 12 関係代名詞
第29回	理解度の確認
第30回	第2学期振り返り

授業方法(対面授業の場合)

文法を簡潔に説明したのち各自練習問題に取り組んでもらいます。受講者の理解度を確認しながら進めます。

授業方法(遠隔授業の場合)

zoomでの同時配信型授業。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業内容についての理解度をみずから確認し、特に1学期は覚えることが多いので指示された箇所をこまめに暗記し宿題に取り組む(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):15% 定期試験以外に・小テスト・提出課題・授業に臨む姿勢(予習、練習問題への取り組み姿勢など)なども評価の対象とします。なお全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題・小テストは次回までにチェックをして返却します。学期末試験は返却し解説を行います。

教科書

ゲナウ！ グラマティック ノイ,新倉真矢子他,第三書房,初,2018,9784808610494

参考文献コメント

(初回の授業で指示する)独和辞典は必ず持参してください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000115	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)15		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小林 和貴子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の発音、文法、文章構造の基礎を学びます。同時にドイツの社会や日常生活について情報を得ることによって、ドイツ語への理解を深めます。

到達目標

- ・ドイツ語文法の基礎をマスターする。
- ・基本的なドイツ語を読み、書き、聞き、話すことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	文字と発音①
第2回	文字と発音②
第3回	第1課 動詞の現在人称変化と語順①
第4回	〃 ②
第5回	第2課 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞①
第6回	〃 ②
第7回	1学期中間テスト
第8回	第3課 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格①
第9回	〃 ②
第10回	第4課 前置詞、副文①
第11回	〃 ②
第12回	第5課 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格①
第13回	〃 ②
第14回	1学期末テスト
第15回	到達度確認
第16回	第6課 冠詞類①
第17回	第5課 黄金仮面
第18回	第7課 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞①
第19回	〃 ②
第20回	第8課 過去形・現在完了形、受動態①
第21回	〃 ②
第22回	2学期中間テスト
第23回	第9課 形容詞の格変化、比較級と最上級①
第24回	〃 ②
第25回	第10課 関係代名詞、命令形①
第26回	〃 ②
第27回	第11課 接続法①
第28回	〃 ②
第29回	2学期末テスト
第30回	到達度確認

授業方法(対面授業の場合)

感染対策を行いつつ、対面で授業を行います(演習形式)。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔に切り替える必要が出てきた場合は、Zoomを使った同時配信型で授業を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・その週の自習内容が終わらなかったらその分は宿題とします(15分程度)。
- ・その週に習った単語やフレーズ、文法規則は、次回前に覚えてください(15～30分程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	2回行います。
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

- ・1年間で、4回のテストをします。それぞれ20%で評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- ・テストの返却時にコメントします。

教科書

ドイツ語の時間―(話すための文法):ドイツ語の時間,清野智昭,朝日出版社,初,2016,978-4-255-25389-3

履修上の注意

- 履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000116	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)16		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。ドイツ語は英語と比べれば、文法上の例外が少ない言葉です。基礎をしっかりと身につけると、自分でドイツ語が自由に読めるようになります。「ドイツ語文法」と言うと堅く聞こえますが、「ドイツ語を読むコツ」と考えて、楽しく身につけましょう。教科書は「PANORAMA Deutsch」です。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されています。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、短いセンテンスを覚えながら、ドイツ語の基礎力を身につけます。

授業内容

実施回 内容

- | 実施回 | 内容 |
|------|--------------------------------|
| 第1回 | 第1回目の授業は、履修者の決定。ドイツ語の発音を勉強します。 |
| 第2回 | 第1課 動詞の現在人称変化 |
| 第3回 | 第2課 名詞の性/冠詞の格変化 |
| 第4回 | 第3課 不規則変化動詞/命令形 |
| 第5回 | 第3課 明日の予定を尋ねる |
| 第6回 | 第4課 定冠詞類・不定冠詞類 |
| 第7回 | 第4課 買い物に行く(1) |
| 第8回 | 第5課 複数形/人称代名詞 |
| 第9回 | 第5課 買い物に行く(2) |
| 第10回 | 第6課 前置詞の格支配 |
| 第11回 | 第6課 週末の予定を尋ねる |
| 第12回 | 第7課 形容詞の格変化 |
| 第13回 | 第7課 趣味について尋ねる |
| 第14回 | 理解度の確認 |
| 第15回 | まとめ |
| 第16回 | 第8課 話法の助動詞/未来形 |
| 第17回 | 第9課 分離動詞/接続詞と副文 |
| 第18回 | 第9課 駅の窓口で尋ねる |
| 第19回 | 第10課 zu不定詞/再帰代名詞 |
| 第20回 | 第10課 休暇の計画を尋ねる |
| 第21回 | 第11課 動詞の3基本形/過去形 |
| 第22回 | 第11課 旅の体験を語る(1) |
| 第23回 | 第12課 現在完了形/非人称表現 |
| 第24回 | 第12課 旅の体験を語る(2) |
| 第25回 | 第13課 受動態/比較表現 |
| 第26回 | 第13課 意見を交換する(1) |
| 第27回 | 第14課 関係代名詞・関係副詞 |
| 第28回 | 第14課 意見を交換する(2) |
| 第29回 | 理解度の確認 |
| 第30回 | まとめ |

授業計画コメント

対面授業を予定しています。対面授業ができない場合には、Zoomで行います。またWebClassで課題を提出してもらったこともあります。

授業方法(対面授業の場合)

授業は、まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。毎回宿題をだしますので、家で考えて、たくさんの「？」を持って授業に来てください。「？」が解決したとき、よく頭に入ります。ほぼ毎回、小テストをします。また各課の終わりにまとめテストをします。成績はまとめテストと普段の小テストでつけます。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業となった場合には、Zoomで対面授業と同じ内容を勉強します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分程度、その週に習った文章を繰り返し暗記してください。基礎文章を長期記憶に定着させ、小テストに臨んでください。その他に、和訳、練習問題などの宿題を出しますので、準備をしてきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		対面形式が行えない場合は期末試験45%
学年末試験(第2学期)		対面形式が行えない場合は学年末試験45%
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10%(授業時の積極性とペア練習の参加態度)、毎回の小テストと各課のまとめテストを合計して90%です。全授業回数数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後にフィードバックします。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[ver.3.0],上野成利、本田雅也,白水社,三訂,2018,9784560064207

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000117	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)17		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の基礎となる文法を学習する。

到達目標

全ての言語活動の基本となる文法を身につけ、平易な文章を読んだり、簡単な作文が出来るようになる。また、正しく発音することが出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	つづりと発音
第3回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」(1)
第4回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」(2)、「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(1)
第5回	「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(2)
第6回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(1)
第7回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(2)
第8回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(1)
第9回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(2)
第10回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(1)
第11回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(2)
第12回	「第6課 形容詞の格変化」(1)
第13回	「第6課 形容詞の格変化」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(1)
第17回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(2)
第18回	「第8課 完了形・比較変化」(1)
第19回	「第8課 完了形・比較変化」(2)
第20回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(1)
第21回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(2)
第22回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(1)
第23回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(2)、「第11課 再帰動詞・分詞」(1)
第24回	「第11課 再帰動詞・分詞」(2)
第25回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(1)
第26回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(2)
第27回	「第13課 受動態」(1)
第28回	「第13課 受動態」(2)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

14・15課の接続法は2年次で学習することになっているので、1年次では扱わない。
対面授業を行う予定であるが、状況によっては、全面的または部分的に遠隔授業に変更する可能性がある。

授業方法(対面授業の場合)

文法事項の説明の後、練習問題を解いて基礎固めをする。随時質問を受け付けるので、理解できない点がある場合は、積極的に質問すること。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業の場合はZoomを用い、同時配信授業を行う予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次の授業で扱う箇所を予習し、また、宿題を必ずやること。(1~2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

遠隔授業に変更された場合、評価項目および評価配分を変更することもあり得る。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

新・文法システム15,西本美彦/西本アンゲリカ/高田博行,同学社,新,2015,9784810208818

参考文献

クラウン 独和辞典,三省堂
フロイデ 独和辞典,白水社
新アポロン 独和辞典,同学社
アクセス 独和辞典,三修社
プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

1年間という限られた時間内で文法事項を一通り終えなければならないので、そのための受講者の協力(宿題は必ずやってくる)は欠かせないが、理解できない点があれば遠慮せず、積極的に質問して欲しい。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000118	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)18		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 遠隔授業		

授業概要

文法は、ドイツ語を理解し、運用するための基本となるものです。ドイツ語の文法は難しいと思われがちですが、基本をよく整理すれば、決して難しいものではなく、論理的で、学習しやすいものです。各項目をひとつひとつ理解し、反復して勉強することで、今後の学習に必要な文法知識をしっかりと身につけてほしいと思います。

到達目標

一年間で接続法を除く一通りの文法を学びます。 それによって様々な文章を読んだり話したりするための基礎を作ります。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	動詞の現在人称変化1
第3回	動詞の現在人称変化2
第4回	名詞の性・数・格1
第5回	名詞の性・数・格2
第6回	定冠詞類、不定冠詞類1
第7回	定冠詞類、不定冠詞類2
第8回	人称代名詞
第9回	不規則動詞の現在人称変化
第10回	不規則動詞の現在人称変化2
第11回	命令形
第12回	前置詞1
第13回	前置詞2
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	前期の復習
第17回	助動詞1
第18回	助動詞2
第19回	分離動詞1
第20回	分離動詞2
第21回	動詞の3基本形、過去形
第22回	現在完了形1
第23回	現在完了形2
第24回	受動態1
第25回	受動態2
第26回	形容詞
第27回	関係代名詞1
第28回	関係代名詞2
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方法(対面授業の場合)

状況によって数回対面授業を行う可能性があります。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業です。よく解らない所は何度も繰り返し見られるようにオンデマンド型が基本ですが、直接質問を受けられるように、まとまった項目ごとにZoomでの同時配信型授業も行います。

LMS(manaba)に音声をつけたパワーポイント資料を掲示します(パワーポイントが視聴できない学生にはPDFと音声になります)。新

しく勉強した知識の定着のためオンライン上に「ドリル」を用意しますので、間違えた所を繰り返し練習してください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習は必要ありませんが、ドリルや課題の提出など復習が重要です。(約1時間)。語学の習得には繰り返しが大事なので、特にドリルは自分の知識の確認のためにも何度も解いてみてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分 (%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点には、オンデマンドの視聴状況、Zoom授業の参加度、ドリルや課題の提出などが含まれます。学期末試験、学年末試験は対面で行う予定ですが、対面で行えない場合は平常点の比率が高くなります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験は第2学期のはじめに返却(結果を通知)します。提出された課題はコメントを付けて返却または授業内でコメントします。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法(改定版), 荻原耕平, 白水社, 9784560064245

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

Zoom授業では最後に毎回アンケートを取りますので、質問等を書いてください。
Zoom授業時以外では、manabaの掲示板、Webclassのメールから連絡をお願いします。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000119	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)19		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。ドイツ語文法の基礎を一通り学びます。

到達目標

ドイツ語の基礎文法を学び、活用できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定。授業の進行についてのガイダンス。ドイツ語の文字や発音についての説明。
第2回	規則変化動詞
第3回	動詞の位置・seinとhaben
第4回	名詞の性・数・格
第5回	冠詞の変化
第6回	不規則変化動詞
第7回	命令形・冠詞類
第8回	定冠詞類・不定冠詞類
第9回	指示代名詞・疑問代名詞
第10回	人称代名詞・前置詞
第11回	前置詞の格支配
第12回	話法の助動詞・未来形
第13回	既習事項の確認
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	前期学習事項の復習
第17回	副文
第18回	分離動詞
第19回	再帰動詞
第20回	非人称es・形容詞
第21回	形容詞の名詞化
第22回	過去形
第23回	完了形
第24回	関係代名詞
第25回	比較
第26回	zu不定詞
第27回	受動文
第28回	既習事項の確認
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

第1学期は7課まで、第2学期は14課までを学ぶ予定です。履修者の理解度によって進度は変更します。

授業方法(対面授業の場合)

授業では新出文法事項の説明を行います。教科書にはその文法事項を用いた練習問題があり授業中に答え合わせ・解説を行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

WebClass上に動画をアップロードするので、それを見て自習し該当箇所の練習課題を提出することになります。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、授業内で指定された練習問題を解いてきてもらいます。これが復習になります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	WebClass上のテストに代替
学年末試験(第2学期)	35 %	WebClass上のテストに代替
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	WebClass上の課題に代替
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	WebClass上の課題に代替
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学んだ内容が小テスト・試験で出題されます。
授業内で指名されて宿題をやっていなかった場合などに平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

わかるぞドイツ語！みえるぞドイツ！WEB改訂版,春日正男、松澤淳,朝日出版社,2022,978-4-255-25451-7 C1084

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,第3版,2010,978-4-384-01234-7

クラウン独和辞典,濱川祥枝、信岡資生、新田春夫,三省堂,第5版,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。特に指定はしませんが必ず辞書は買って下さい。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000120	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)20		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の基礎となる文法を学習する。

到達目標

全ての言語活動の基本となる文法を身につけ、平易な文章を読んだり、簡単な作文が出来るようになる。また、正しく発音することが出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	つづりと発音
第3回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」(1)
第4回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」(2)、「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(1)
第5回	「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(2)
第6回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(1)
第7回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(2)
第8回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(1)
第9回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(2)
第10回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(1)
第11回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(2)
第12回	「第6課 形容詞の格変化」(1)
第13回	「第6課 形容詞の格変化」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(1)
第17回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(2)
第18回	「第8課 完了形・比較変化」(1)
第19回	「第8課 完了形・比較変化」(2)
第20回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(1)
第21回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(2)
第22回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(1)
第23回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(2)、「第11課 再帰動詞・分詞」(1)
第24回	「第11課 再帰動詞・分詞」(2)
第25回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(1)
第26回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(2)
第27回	「第13課 受動態」(1)
第28回	「第13課 受動態」(2)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

14・15課の接続法は2年次で学習することになっているので、1年次では扱わない。
対面授業を行う予定であるが、状況によっては、全面的または部分的に遠隔授業に変更する可能性がある。

授業方法(対面授業の場合)

文法事項の説明の後、練習問題を解いて基礎固めをする。随時質問を受け付けるので、理解できない点がある場合は、積極的に質問すること。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業の場合はZoomを用い、同時配信授業を行う予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次の授業で扱う箇所を予習し、また、宿題を必ずやること。(1~2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

遠隔授業に変更された場合、評価項目および評価配分を変更することもあり得る。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

新・文法システム15,西本美彦/西本アンゲリカ/高田博行,同学社,新,2015,9784810208818

参考文献

クラウン 独和辞典,三省堂
フロイデ 独和辞典,白水社
新アポロン 独和辞典,同学社
アクセス 独和辞典,三修社
プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

1年間という限られた時間内で文法事項を一通り終えなければならないので、そのための受講者の協力(宿題は必ずやってくる)は欠かせないが、理解できない点があれば遠慮せず、積極的に質問して欲しい。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000121	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)21		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

練習問題をたくさん解きながら、ドイツ語文法の基礎をしっかりと学びます。

到達目標

「ドイツ語技能検定試験」4～3級に合格できるレベルを目指します。また、簡単な文章であれば、自分で書いたり、自力で読んだりできるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、発音
第2回	動詞の現在人称変化・動詞の位置
第3回	sein, haben, werden
第4回	並列の接続詞
第5回	定冠詞・不定冠詞
第6回	否定冠詞
第7回	名詞の複数形
第8回	人称代名詞
第9回	不定冠詞類(所有冠詞)
第10回	定冠詞類
第11回	不規則変化動詞の現在人称変化
第12回	命令形
第13回	話法の助動詞①
第14回	話法の助動詞②
第15回	前置詞
第16回	再帰代名詞・再帰動詞
第17回	分離動詞
第18回	非分離動詞
第19回	zu不定詞
第20回	従属の接続詞
第21回	動詞の3基本形
第22回	序数詞
第23回	過去形
第24回	現在完了形①
第25回	現在完了形②
第26回	受動態
第27回	形容詞の変化
第28回	形容詞・副詞の比較変化
第29回	関係代名詞
第30回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

ときどき確認テストを行います。

授業方法(対面授業の場合)

演習形式

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを用いたオンライン授業。WebClassを併用し、資料の配付・課題の回収等も行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、授業で学習した文法項目を確認するための宿題を出します。必ず取り組み、理解できていないところがあれば、次の授業で質問できるように準備をしてください。(1～2時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各学期の最後に行う学期末試験、小テスト、授業参加度から総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

確認テストについては授業内に返却・解説を行います。

教科書

ゲナウ！ グラマティック ノイ,新倉真矢子 他,第三書房,2018,978-4-8086-1049-4

教科書コメント

分かりやすい解説とたくさんの練習問題で、ドイツ語の基本文法を体系的かつ能動的に学ぶことのできる教科書です。

参考文献

クラウン独和辞典,三省堂,第5,2013,978-4-385-12011-9

アクセス独和辞典,三修社,第4,2021,978-4-384-06000-3

参考文献コメント

初級～中級学習者向けの辞書です。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001101	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)1		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 対面授業		

授業概要

初級文法を終えた学生を対象とし、ドイツ語読解力の向上を目的とします。文法練習なども、バランスよく加えながら、ドイツ語中級の読解力を養います。教科書には「新・ドイツ語読みかた教室」を用います、たくさん発音練習もしながらドイツ語の読解力をつけていきましょう。

到達目標

ドイツ語の初級文法全般にわたる知識を前提に、辞書を使って正確にドイツ語の様々な文章を読むことができる。辞書を使わないでも大意が取れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	LEKTION 1 トイレでノックはするな Klopfen—wozu? ～がある/いる: es gibt + 4格と es ist ～との違い
第2回	LEKTION 1 トイレでノックはするな Klopfen—wozu? ～がある/いる: es gibt + 4格と es ist ～との違い
第3回	LEKTION 2 ドイツ人と音—音楽かならずしも楽音ならず Deutsche und Geräusche 接続法の表現・前つづりの意味
第4回	LEKTION 2 ドイツ人と音—音楽かならずしも楽音ならず Deutsche und Geräusche 接続法の表現・前つづりの意味
第5回	LEKTION 3 ドイツ人はケチ? Sind Deutsche geizig? 造語法・序数と分数・形容詞の名詞化
第6回	LEKTION 3 ドイツ人はケチ? Sind Deutsche geizig? 造語法・序数と分数・形容詞の名詞化
第7回	LEKTION 3 ドイツ人はケチ? Sind Deutsche geizig?
第8回	LEKTION 4 ドイツ人のジョーク Deutscher Witz wissenとkennen・過去分詞の形容詞的用法・冠詞句
第9回	LEKTION 4 ドイツ人のジョーク Deutscher Witz wissenとkennen・過去分詞の形容詞的用法・冠詞句
第10回	LEKTION 5 割り勘 Jeder bezahlt für sich 接頭辞と接尾辞・比較・従属接続詞
第11回	LEKTION 5 割り勘 Jeder bezahlt für sich 接頭辞と接尾辞・比較・従属接続詞
第12回	LEKTION 6 ドイツ人とサンドイッチ Essen die Deutschen Sandwiches? 動詞の不定形・名詞文体・未来受動分詞の用法
第13回	LEKTION 6 ドイツ人とサンドイッチ Essen die Deutschen Sandwiches? 動詞の不定形・名詞文体・未来受動分詞の用法
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	LEKTION 7 ドイツ人の時間感覚 Zeitgefühl der Deutschen wasの用法・訳しにくい動詞と名詞
第17回	LEKTION 7 ドイツ人の時間感覚 Zeitgefühl der Deutschen wasの用法・訳しにくい動詞と名詞
第18回	LEKTION 8 保守と革新 Konservativ oder Progressiv 文の構造・接続法と直説法・形容詞の名詞化
第19回	LEKTION 8 保守と革新 Konservativ oder Progressiv 文の構造・接続法と直説法・形容詞の名詞化
第20回	LEKTION 9 客はどこに座らせる? Wo sitzt der Gast? 機能動詞
第21回	LEKTION 9 客はどこに座らせる? Wo sitzt der Gast? 機能動詞
第22回	LEKTION 9 客はどこに座らせる? Wo sitzt der Gast?
第23回	LEKTION 10 遅れてきたとき、どのように着席するのか? Wie kommt man zu seinem Platz, wenn man zu spät kommt? 動詞(現在分詞)の名詞化・指示代名詞

第24回	LEKTION 10 遅れてきたとき、どのように着席するのか？ Wie kommt man zu seinem Platz, wenn man zu spät kommt? 動詞(現在分詞)の名詞化・指示代名詞
第25回	LEKTION 11 使いやすい表現と使いにくい表現 Leicht benutzbare Ausdrücke und schwer benutzbare Ausdrücke 定関係代名詞・話法の助動詞・従属接続詞obwohl
第26回	LEKTION 11 使いやすい表現と使いにくい表現 Leicht benutzbare Ausdrücke und schwer benutzbare Ausdrücke 定関係代名詞・話法の助動詞・従属接続詞obwohl
第27回	LEKTION 12 働いてばかりはいられない Man kann nicht immer arbeiten 過去分詞の副詞的用法
第28回	LEKTION 12 働いてばかりはいられない Man kann nicht immer arbeiten 過去分詞の副詞的用法
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

毎回予習をもとに輪読し、疑問点を隣の人と相談する。その上で教員が解説を加える。

授業方法(遠隔授業の場合)

対面授業と同じ内容を、Zoomで行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分、その週にならった文章を音読してください。和訳、宿題を毎回出しますので、準備してきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

ほぼ毎回小テストを行います。また各課終了後にまとめテストを行います。
授業の3分の1以上欠席した場合は、評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験返却後に質問を受け付けます。

教科書

新・ドイツ語読みかた教室,大谷弘道,三修社,2010,978-4-384-13088-1 C1084

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001102	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)2		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の初級文法を一通り学習した学生が対象です。
ある程度まとまった量の文章を読みながら、基礎文法の確認・定着を図りつつ、中～上級文法や新たな語彙・表現を身につけていきます。

到達目標

自分が興味をもったことについて、WebニュースやWebサイトなどから記事を探せるようになる。また、探し出した記事について、辞書を用い、内容をだまかに把握できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	初級文法の確認
第2回	特に重要な中級文法の確認
第3回	テキスト①読解・意見交換[1]
第4回	テキスト①読解・意見交換[2]
第5回	テキスト②読解・意見交換[1]
第6回	テキスト②読解・意見交換[2]
第7回	第1学期前半の文法・重要表現のまとめ
第8回	テキスト③読解・意見交換[1]
第9回	テキスト③読解・意見交換[2]
第10回	テキスト④読解・意見交換[1]
第11回	テキスト④読解・意見交換[2]
第12回	テキスト⑤読解・意見交換[1]
第13回	テキスト⑤読解・意見交換[2]
第14回	第1学期後半の文法・重要表現のまとめ
第15回	振り返り
第16回	テキスト⑥読解・意見交換[1]
第17回	テキスト⑥読解・意見交換[2]
第18回	テキスト⑦読解・意見交換[1]
第19回	テキスト⑦読解・意見交換[2]
第20回	テキスト⑧読解・意見交換[1]
第21回	テキスト⑧読解・意見交換[2]
第22回	第2学期前半の文法・重要表現のまとめ
第23回	テキスト⑨読解・意見交換[1]
第24回	テキスト⑨読解・意見交換[2]
第25回	テキスト⑩読解・意見交換[1]
第26回	テキスト⑩読解・意見交換[2]
第27回	テキスト⑪読解・意見交換[1]
第28回	テキスト⑪読解・意見交換[2]
第29回	第2学期前半の文法・重要表現のまとめ
第30回	振り返り

授業計画コメント

履修者の興味に応じてテキストを選択します。

授業方法(対面授業の場合)

演習形式

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを用いオンライン授業を行います。対面授業と同じように双方向型とします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次に読むテキストで必要となる単語や文法をまとめたプリントを配ります。語句については必ず調べてきてください。(30分～1時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)	20 %	

成績評価コメント

各学期の最後に行う試験に加え、小テスト、提出課題、授業への参加態度などから総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストや課題は授業時に返却します。連絡や課題のやり取りにはWebClassを用いることもあります。

教科書コメント

毎回プリントを用意します。

参考文献

アクセス独和辞典, 在間進, 三修社, 4, 2021, 978-4-384-06000-3

クラウン独和辞典, 濱川祥枝, 三省堂, 5, 2013, 978-4-385-12011-9

参考文献コメント

必ず独和辞典を持参してください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001103	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)3		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語圏における様々なテーマ(歴史、社会、生活など)について、ドイツ語テキストを読みながら学んでいくことを目的とした授業です。初級文法を終えた学生を対象として、できるだけ多くのドイツ語を読み、文法事項の確認や語彙の増強を図ります。

到達目標

辞書を引きながらであればある程度のドイツ語読解ができるようになること、またそれによって日本語・英語に加えてドイツ語圏における情報へも目を向け、物事を相対的に判断できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンス
第2回	Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (1) テキスト読解①
第3回	Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (2) テキスト読解②
第4回	Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (3) 文法確認
第5回	Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (1) テキスト読解①
第6回	Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (2) テキスト読解②
第7回	Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (3) 文法確認
第8回	Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (1) テキスト読解①
第9回	Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (2) テキスト読解②
第10回	Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (3) 文法確認
第11回	Lektion4 Der süße Brei (1) テキスト読解①
第12回	Lektion4 Der süße Brei (2) テキスト読解②
第13回	Lektion4 Der süße Brei (3) 文法確認
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (1) テキスト読解①
第17回	Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (2) テキスト読解②
第18回	Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (3) 文法確認
第19回	Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (1) テキスト読解①
第20回	Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (2) テキスト読解②
第21回	Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (3) 文法確認
第22回	Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (1) テキスト読解①
第23回	Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (2) テキスト読解②
第24回	Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (3) 文法確認
第25回	Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (1) テキスト読解①
第26回	Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (2) テキスト読解②
第27回	Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (3) 文法確認
第28回	Lektion9 Vom deutschen Stil 文法確認
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

授業では主にグループワークを行い、読解や文法に関する課題をお互いに議論しながら一緒に解いてもらいます。教員は適宜質疑応答を行い、全体確認の形でフィードバックを行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

WebClassを通じたオンデマンド授業を行います。適宜課題を出しますので、期日内に提出してください。

試験は期末課題を代替とします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 読解するテキストの音声を視聴し、音読練習/扱う文法事項について昨年の学習内容を確認(30分程度)

復習: 授業内で扱ったテキストの訳や間違えていた課題の見直し(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20%	オンライン形式によるテスト課題
学年末試験(第2学期)	20%	オンライン形式によるテスト課題
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60%	各回ごとに課される課題に対する評価
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

対面形式での実施が困難になった場合は、備考欄に記載の評価方法とします。
グループワークや教員が指示した課題に対する授業中の成果を平常点として評価します。
期末試験では、授業内で扱ったテキストに関する問題を出します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。
試験は採点后、返却と解説を行います。

教科書

ドイツ語トライアングル, 荻原耕平/畠山寛/高本教之, 同学社, 2018, 978-4-8102-0698-2

参考文献コメント

辞書は必ず毎回持参すること。
また、必要に応じて初級時の教科書も参照してください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

グループワーク中心ですので、疑問があったら1人で抱え込まずに共有し、お互いに知識をシェアして助け合いながら課題に取り組んでください。教員は最大限サポートしますので、気軽に声をかけてください。いい質問の場合は平常点として加算もします。
連絡は授業時間前後、もしくはG-PortやWebClassを通じて行います。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001104	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)4		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 対面授業		

授業概要

本講座は、ドイツ語初級講座で培った能力を確かなものにし、辞書を引きながらドイツ語を理解できるようになることを目指す。発音と基本+αの文法を確実に身につけることは必須である。可能なら第2学期には文学作品も扱いたい。

到達目標

ドイツ語がわかり、面白くなる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語の基本中の基本の復習。
第2回	未習の文法、接続法(1)要求話法と間接話法。
第3回	接続法(2)非現実話法と婉曲話法。
第4回	テキスト第1章の本文。
第5回	第1章の練習問題。
第6回	第2章の本文。
第7回	第2章の練習問題。
第8回	第3章の本文。
第9回	第3章の練習問題。
第10回	第4章の本文。
第11回	第4章の練習問題。
第12回	第5章の本文。
第13回	第5章の練習問題。
第14回	まとめ。
第15回	総括。
第16回	第1学期の期末テスト返却。第6章の本文。
第17回	第6章の練習問題。
第18回	第7章の本文。
第19回	第7章の練習問題。
第20回	第8章の本文。
第21回	第8章の練習問題。
第22回	第9章の本文。
第23回	第9章の練習問題。
第24回	第10章の本文。
第25回	第10章の練習問題。
第26回	文学作品を読む(1) Antoine de Saint-Exupéry: Der kleine Prinz
第27回	文学作品を読む(2) Franz Kafka: Vor dem Gesetz
第28回	文学作品を読む(3) Franz Kafka: Ein Bericht für eine Akademie
第29回	まとめ。
第30回	総括。

授業方法(対面授業の場合)

毎回、出席者に和訳などをしてもらおう。

授業方法(遠隔授業の場合)

毎回、参加者に和訳や文法説明の課題を提出してもらおう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

和訳や文法の子習を課す。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:20%(ふだんが大切)。第1学期(学期末試験):20%(地道にやっているか)。第2学期(学年末試験):60%(語学は最終的にどれだけできるようになったかが最重要である)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に全体に向けてフィードバックを行なう。

教科書

DACH・トピックス10 2022年度版,D. Beier-Taguchi、田中雅敏,朝日出版社,初,2022,978-4-255-25454-8

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001105	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)5		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 対面授業		

授業概要

初級で学習したことをベースにして、ドイツ語の Text を読み、内容について理解する力を養成することを目的とする。

到達目標

ドイツ語の Text を読み解きながら内容について理解し、自分の言葉で説明できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンスと導入、Kapitel 1 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第2回	Kapitel 1 Lesetext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第3回	Kapitel 1 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第4回	Kapitel 1 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第5回	Kapitel 2 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第6回	Kapitel 2 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第7回	Kapitel 2 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第8回	Kapitel 2 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第9回	Kapitel 3 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第10回	Kapitel 3 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第11回	Kapitel 3 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第12回	Kapitel 3 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第13回	Kapitel 4 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第14回	Kapitel 4 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第15回	理解度の確認
第16回	1学期期末試験の返却と解説
第17回	Kapitel 4 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第18回	Kapitel 4 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第19回	Kapitel 5 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第20回	Kapitel 5 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第21回	Kapitel 5 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第22回	Kapitel 5 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第23回	Kapitel 6 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第24回	Kapitel 6 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第25回	Kapitel 6 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第26回	Kapitel 6 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第27回	Kapitel 7 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第28回	Kapitel 7 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第29回	Kapitel 7 Lesetext 2 読解、文法項目確認、練習問題
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

はじめのうちは教科書となる Text の読解、必要となる文法事項の説明と練習とするが、場合によっては、順番や内容を途中で変更したり、新たな Text へ変更したりすることもある。

授業方法(対面授業の場合)

講義・演習(場合によっては WebClass か Mail を用いて課題や補助教材の受け渡しを行う)

授業方法(遠隔授業の場合)

講義・演習(場合によっては WebClass か Mail を用いて課題や補助教材の受け渡しを行う)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

あらかじめ Text を読み、分からない語句・文構造などは辞書・文法書等で調べておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は次の時間に答え合わせをする

テストは返却後授業で解説

教科書

ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化8章プラス・エクストラ,Ute Schmidt/Mechthild Duppel-Takayama/三ッ石祐子/和泉雅人, 三修社,2021

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

辞書は必ず持参のこと。できればベーシックの授業時の教科書や文法書も持参するとよい。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001106	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)6		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 対面授業		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科2年次指定クラスで、メルヘン、小説、新聞・雑誌記事等、様々な文章の読解を通じて、1年次に学んだドイツ語の基礎をより確実にすると同時に、種々のドイツ語文章に対応する読解力を養成する。文法事項を踏まえ、文章を正確に読むことを目指す。

到達目標

様々なドイツ語の文章を、文法を踏まえ、前後関係を把握し、相当程度正確に読むことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス。一年次の復習(接続法1)
第2回	一年次の復習(接続法2)
第3回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(1)
第4回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(2)
第5回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(3)
第6回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(4)
第7回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(5)
第8回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(6)
第9回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(7)
第10回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(8)
第11回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(9)
第12回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(10)
第13回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(11)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(12)
第17回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(13)
第18回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(14)
第19回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(15)
第20回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(16)
第21回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(17)
第22回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(18)
第23回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(19)
第24回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(20)
第25回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(21)
第26回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(22)
第27回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(23)
第28回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(24)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

対面授業を予定しているが、全面的または部分的に遠隔授業に変更することもあり得る。

授業方法(対面授業の場合)

受講者各自にドイツ語を読んで訳してもらい、教員がそれぞれの誤りを訂正し、また、重要な文法事項や内容等に解説を加えながら授業を進める。担当者以外の受講者に意見を求めることもあるので、積極的に授業に参加することが求められる。

また、時間の許す限りにおいて、テキスト理解やドイツ語圏の生活・文化に対する理解を深めるための写真等も見る予定である。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業に変更された場合は、Zoomを使用した同時配信授業を行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予定した範囲の文章を事前に和訳し、理解する(約2時間)。読み合わせた部分の重要事項を事後に再確認し、覚える(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

対面による試験を行うことができない場合は、オンラインによる試験を行う。また、その場合は、評価項目および評価配分を変更することもあり得る。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書コメント

プリント配布。

参考文献

独和辞典, 富山・他, 郁文堂, 2

独和大辞典, 国松／岩崎・他, 小学館, 2

中級ドイツ文法, 中山豊, 白水社

[改訂版] 詳解ドイツ語文法, 在間進, 大修館書店

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001107	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)7		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	伊藤 白		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 対面授業		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。
A2レベルのドイツ語で書かれたニュース等を用い、できるだけたくさん読みまた聞くことで、語彙や表現を増やし、1年次にならった文法を定着させていきます。

到達目標

- ・ある程度の量のドイツ語のテキストを、聞き取り、また理解できるようにする。
- ・少くくらい意味の分からない単語があっても、テキスト全体の文意をつかめるようにする。
- ・テキストによく出てくる単語や表現を覚える。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション テキスト①ディクテーション
第2回	テキスト①読解
第3回	テキスト②ディクテーション
第4回	テキスト②読解
第5回	テキスト③ディクテーション
第6回	テキスト③読解
第7回	テキスト①～③ミニテスト
第8回	テキスト④ディクテーション
第9回	テキスト④読解
第10回	テキスト⑤ディクテーション
第11回	テキスト⑤読解
第12回	テキスト⑥ディクテーション
第13回	テキスト⑥読解
第14回	期末テスト
第15回	まとめ
第16回	テキスト⑦ディクテーション
第17回	テキスト⑦読解
第18回	テキスト⑧ディクテーション
第19回	テキスト⑧読解
第20回	テキスト⑨ディクテーション
第21回	テキスト⑨読解
第22回	テキスト⑦～⑨ミニテスト
第23回	テキスト⑩ディクテーション
第24回	テキスト⑩読解
第25回	テキスト⑪ディクテーション
第26回	テキスト⑪読解
第27回	テキスト⑫ディクテーション
第28回	テキスト⑫読解
第29回	期末テスト
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

事前の予習を元にグループワークしながら文章の読解を進めます。

授業方法(遠隔授業の場合)

対面授業ができない場合には、同時配信型(Zoom使用)で、LMS(WebClass)で教材や資料を配信・配布します。

授業の内容は対面の場合と同様です。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

隔週で、テキストの文法解析・翻訳と、音読(録音して提出)を交互に課題として出します(60分程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	事前準備、単語リストの作成
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テスト、ミニテスト、録音等の提出物にコメントを付けて返却します。

教科書コメント

プリントをこちらで配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

辞書と1年次に使った文法教科書を毎回持参すること。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001108	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)8		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 対面授業		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。ドイツ語読解力の向上を目的とします。エッセイ、メルヒェン、文学などさまざまな種類の文章をテンポ良く読んでいきます。コピーを配布します。

到達目標

ドイツ語技能検定試験2級合格程度の読解力および文法知識の習得を目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	テキスト1
第2回	テキスト1
第3回	テキスト2
第4回	テキスト2
第5回	テキスト3
第6回	テキスト3
第7回	テキスト4
第8回	テキスト4
第9回	テキスト5
第10回	テキスト5
第11回	テキスト6
第12回	テキスト6
第13回	テキスト7
第14回	テキスト7
第15回	まとめ
第16回	テキスト8
第17回	テキスト8
第18回	テキスト9
第19回	テキスト9
第20回	テキスト10
第21回	テキスト10
第22回	テキスト11
第23回	テキスト11
第24回	テキスト12
第25回	テキスト12
第26回	テキスト13
第27回	テキスト13
第28回	テキスト14
第29回	テキスト14
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

対面授業を行います。輪読形式で予習してきたものを発表し、わからなかった箇所はみんなで考えます。そのあと解説を加えます。

授業方法(遠隔授業の場合)

対面授業が出来ない場合には、Zoomで対面の授業と同じ内容を扱います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習は少なくとも2時間。それ以外に音読は毎日15分。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10%。各テキストを読み終わるたびにまとめテストを行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験返却時に質問を受け付けます。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001109	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)9		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。これまでのドイツ語知識を確認し、復習することからはじめます。その後は、新聞、雑誌、物語などさまざまなジャンルのテキストを読みます。テーマはそのつど、なるべく学習者の興味に応じたものを選択します。

到達目標

新聞、雑誌記事、物語などを読み、さまざまな文体に慣れると同時に、文法・文構造への理解をより深め、読解の精度を高められる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	こちらで用意したテキストを読み進めます テキスト読解1
第3回	テキスト読解2
第4回	テキスト読解3
第5回	テキスト読解4
第6回	テキスト読解5
第7回	テキスト読解6
第8回	テキスト読解7
第9回	テキスト読解8
第10回	テキスト読解9
第11回	テキスト読解10
第12回	テキスト読解11
第13回	テキスト読解12
第14回	理解度の確認
第15回	第1学期振り返り
第16回	テキスト読解13
第17回	テキスト読解14
第18回	テキスト読解15
第19回	テキスト読解16
第20回	テキスト読解17
第21回	テキスト読解18
第22回	テキスト読解19
第23回	テキスト読解20
第24回	テキスト読解21
第25回	テキスト読解22
第26回	テキスト読解23
第27回	テキスト読解24
第28回	テキスト読解25
第29回	理解度の確認
第30回	第2学期振り返り

授業方法(対面授業の場合)

訳の発表および、文法・文構造についての質問に答えてもらいます。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを使用し、同時配信型で行います。授業の進め方は対面授業と基本的に同じです。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

指示した箇所を予習してくる(約90分)。文構造をひとつひとつ丁寧に分析し、意味だけでなくそこに含まれている文法および文構造についても述べられるよう、万全な準備をしてください。授業後は、知識が不足していたと感じる箇所を中心に十分に復習をしてください(40分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	WebClass上で行います。
学年末試験(第2学期)	35 %	WebClass上で行います。
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加):30% 文法を理解し、テキストに対し十分に取り組んだ上で授業に参加しているかなど、平常点を重視します。なお、全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。第1学期(学期末試験):35% 第2学期(学年末試験):35%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験の答えは返却し、授業内で解説を行います。

参考文献コメント

独和辞典は必ず持参してください。また、初級の授業で使用した文法教科書も随時参照できるように手元に用意しておいてください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001110	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)10		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語で書かれたテキストを読解を行います。
並行して、初級ドイツ語の授業で習得した事項の復習、確認をします。

なお、この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。

到達目標

ドイツ語の文章を読解する際のポイントを、履修者が把握できるようになることが目標です。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンス
第2回	テキスト1読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第3回	テキスト1読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第4回	テキスト1読解(続き)、文章全体の構成の確認
第5回	テキスト2読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第6回	テキスト2読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第7回	テキスト2読解(続き)、文章全体の構成の確認
第8回	テキスト3読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第9回	テキスト3読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第10回	テキスト3読解(続き)、文章全体の構成の確認
第11回	テキスト4読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第12回	テキスト4読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第13回	テキスト4読解(続き)、文章全体の構成の確認
第14回	まとめ
第15回	総括
第16回	テキスト5読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第17回	テキスト5読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第18回	テキスト5読解(続き)、文章全体の構成の確認
第19回	テキスト6読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第20回	テキスト6読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第21回	テキスト6読解(続き)、文章全体の構成の確認
第22回	テキスト7読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第23回	テキスト7読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第24回	テキスト7読解(続き)、文章全体の構成の確認
第25回	テキスト8読解、関連する文法事項の確認、解説
第26回	テキスト8読解(続き)、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第27回	テキスト8読解(続き)、文章全体の構成の確認
第28回	テキスト8読解(続き)、文章全体の構成の確認
第29回	まとめ
第30回	総括

授業方法(対面授業の場合)

演習ならびに講義

授業方法(遠隔授業の場合)

オンデマンド型授業

WebClass を通して教材を配信します。課題提出によって到達度の確認が行われます。

また、WebClass の出席確認機能によって、出席確認がなされます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前にテキストに目を通し、日本語に訳せるように単語の意味を調べておいてください
また、意味等不明な箇所があればあげておいてください。(1時間～2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分 (%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	対面試験実施不可能の場合はレポート
学年末試験(第2学期)	25 %	対面試験実施不可能の場合はレポート
中間テスト	25 %	対面試験実施不可能の場合はレポート
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	対面授業実施不可能の場合はレポート
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点については、授業中の発表内容が特にポイントとなります。
また進度を勘案したうえで、中間テストを行い、理解度をチェックする予定です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験の答えは返却し、履修者各自に内容確認を促し、授業内で解説を行います。

教科書コメント

プリント使用の予定

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業時間内に使用する可能性があるため、独和辞典を持参してください。
電子辞書でも良いです。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001111	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)11		
副題	色々な種類のテキストを読んで語彙と文法力を身につけましょう		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語初級文法をすでに学習した学生を対象としたクラスです。色々な種類のテキスト読解を通じて、文脈における語彙の用法と文法構造を意識化することを目標とします。また、文メロディーや文アクセントに注意を払って音読する練習も行います。

到達目標

ドイツ語検定2～3級合格程度の読解力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業の進め方のガイダンス、評価の仕方に関する説明
第2回	テキスト種類に関する導入
第3回	さまざまな読みのスタイルの紹介
第4回	ジェンダー:ブレーンストーミング
第5回	Gender: 導入テキスト
第6回	Gender: 導入テキスト
第7回	Gender: 導入テキスト
第8回	Gender: インタビュー・テキスト (1)
第9回	Gender: インタビュー・テキスト (1)
第10回	Gender: インタビュー・テキスト (1)
第11回	Gender: インタビュー・テキスト (1)
第12回	Gender: インタビュー・テキスト (2)
第13回	Gender: インタビュー・テキスト (2)
第14回	Gender: インタビュー・テキスト (2)
第15回	到達度の確認
第16回	グリム童話 導入
第17回	Rotkäppchen
第18回	Rotkäppchen
第19回	Rotkäppchen
第20回	Rotkäppchen
第21回	Schneeweißchen und Rosenrot
第22回	Schneeweißchen und Rosenrot
第23回	Schneeweißchen und Rosenrot
第24回	Schneeweißchen und Rosenrot
第25回	Hans im Glück
第26回	Hans im Glück
第27回	Hans im Glück
第28回	Hans im Glück
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度の確認

授業計画コメント

第1学期はジェンダーをテーマとし、現在形および現在完了形がメインのSachtextを読みます。第2学期は過去形に慣れるために物語を読みます。その際、前置詞、冠詞、分離動詞、非分離動詞、接続詞、接続法などの文法事項の復習と確認もいたします。皆さんの理解度に応じて進めていくので、上記の「授業内容」に挙げたものすべてを読むとは限りません。一方、上で挙げていないものを適宜扱う可能性もあります。

授業方法(対面授業の場合)

こちらが指示したテキストを全員があらかじめ読んで準備していることを前提に進めます。テキストの音読ののち、意味内容を説明し

いただきます。その後、皆さんから質問を頂いたりこちらから質問をします。授業を受けるためには皆さんの準備が欠かせません。

授業方法(遠隔授業の場合)

WebClassの「会議室」のチャット機能を利用し、木曜2限の時間帯にリアルタイムで行います。レポートや卒論をスマートフォンで書くことはできません。この授業によって、キーボードで日本語なりドイツ語を素早く打てるようになります。授業を受ける際は、辞書の他に、読むテキストや自分が提出した宿題などをプリントアウトしたものを必ず手元においてください。皆さんの積極的な発言と質問が授業を元気あるものにします。音読や発音チェックのために最低1回はZoom授業(カメラOFF)をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回授業までに何をしておいて欲しいか伝えます(遠隔授業の場合はWebClassにアップ)ので、準備しておいてください。遠隔授業の場合、授業終了直後から宿題にとりかかれるようにしておきます。その宿題提出をもって授業出席とします。質問は授業中にしてください。音読練習も必ずしてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	毎授業後に課す宿題の提出および内容
学年末試験(第2学期)	20 %	毎授業後に課す宿題の提出および内容
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	毎授業後に課す宿題の提出および内容
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

対面授業であれ遠隔授業であれ、十分な準備と授業中の積極的な発言と質問を重視します。遠隔授業の場合は、毎回の宿題の提出状況および内容を評価の判断材料とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

第1学期の試験の答えは第2学期に返却し、ミスの多かった事項を中心に解説します。

遠隔授業の場合、宿題の正解および説明をWebClassにアップします。それに必ず目を通し自分が提出した回答と比較検討して下さい。質問は授業中いつでも受けつけます。

教科書コメント

授業中に適宜、プリントとして配布します。遠隔授業の場合は、テキスト、画像、動画、音声資料などをアップします。読解テキストは必ずプリントアウトしておいてください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

WebClassの「お知らせ」を利用して連絡して下さい。こちらから学生への連絡も同様に「お知らせ」機能を用います。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001112	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)12		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	鎌倉 澄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の初級文法を一通り学習した学生を対象とします。
 ドイツ語読解の基本を押さえ、既習・未習の事項を確認、説明しつつ、テキストを読んでいます。
 扱うテキストは、ドイツ語の子供向け百科事典サイトや、ドイツ語学習者向けのニュースサイト、さらにドイツ国内の名所や博物館等のWebサイト等から、参加者の興味関心に応じながら選びます。
 平易で短いテキストから始め、徐々に長いテキストを読めるようにしていきます。適宜音読や聞き取りも取り入れ、音声からの読解も練習していきます。

到達目標

各自が興味ある分野のドイツ語による情報を独自に入手し、平易なテキストであれば自力で大まかな内容を理解でき、難しいものでも辞書等の助けがあれば理解できるレベルに達することが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語読解の基礎、Tiere (生き物)1 Käfer (甲虫) 動詞の現在人称変化
第2回	Tiere1-2 Käfer 名詞の性数格、比較表現
第3回	Tiere1-3 Käfer 形容詞の付加語的用法、現在完了
第4回	Tiere2-1 Bär (熊) 前置詞、助動詞、同等比較
第5回	Tiere2-2 Bär sein/habenの過去形、3・4格支配の前置詞
第6回	Tiere3-1 Hai (鮫) 関係代名詞
第7回	Tiere3-2 Hai / Tiere4-1 Fledermaus (蝙蝠) 再帰代名詞、es gibt 4格
第8回	Tiereまとめと復習
第9回	Personen (人物)1 Beethoven / Hitler 過去形、使役lassen
第10回	Personen2-1 Chaplin 受動、色々な従属接続詞
第11回	Personen2-2 Chaplin 分詞
第12回	Personen2-3 Chaplin 呼応表現
第13回	Der große Diktator —HitlerとChaplin—
第14回	第1学期まとめ 理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	Japan und Deutschland 1-1 Erfindungen (ドイツの発明品)
第17回	Japan und Deutschland 1-2 Erfindungen 前置詞付きの関係代名詞
第18回	Japan und Deutschland 2 Japanische Kultur1 (外から見た日本)
第19回	Japan und Deutschland 2 Japanische Kultur 2 Wohnen (住まい)
第20回	Japan und Deutschland 2 Japanische Kultur 3 Essen (食事)
第21回	Japan und Deutschland 2 Japanische Kultur 4 Kleidung (衣服)
第22回	Japan und Deutschland 3 Das Lied der Deutschen (ドイツの国歌)
第23回	Japan und Deutschland 4 Verfassung (憲法)
第24回	Feste und Bräuche (祝祭)1 Advent (待降節)
第25回	Feste und Bräuche 2 Nikolaus (聖ニコラウス)
第26回	Feste und Bräuche 3 Weihnachtsmärkte (クリスマスマーケット)
第27回	Feste und Bräuche 4 Thomanerchor an der Thomaskirche Leipzig 1 (聖トーマス教会合唱隊)
第28回	Feste und Bräuche 4 Thomanerchor an der Thomaskirche Leipzig 2 (聖トーマス教会合唱隊)
第29回	第2学期まとめ 理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

第1学期は文法確認をしながらゆっくり着実に力をつけていきます。
 授業内容の欄には用意したテキストの内容を一応記載しましたが、特に2学期は参加者の興味に応じて臨機応変にテキストを選んでいくつもりです。応用練習のつもりで、様々なテキストに挑戦していきましょう。

授業方法(対面授業の場合)

ペアワーク、グループワークも取り入れながら、全員でテキストを読み進めていきます。
授業内で指示された課題(予習、復習、練習問題等)は、必ず行ってください。
予習・復習には学習プラットフォームMoodleを利用してください。

授業方法(遠隔授業の場合)

万が一の状況に備えて、Zoomによる同時双方向授業の実施も考慮に入れています。対面・遠隔ともに同様の授業内容です。対面実施の際にZoomで参加する場合は遅刻・早退扱いになります。詳細は初回授業で確認してください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習、文の構造チェック、単語の下調べ、練習問題、音読等、毎回少しずつ課題を出します。無理なく30分程度でこなせるような内容にしますので、必ず行ってください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:毎回の課題(予習・復習)への取り組み状況、毎回の授業での参加度を点数化します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題、および試験については、授業内、または学習プラットフォームMoodleを利用してフィードバックします。

教科書コメント

毎回プリントを使用します。教室で配布、または各自Moodleからダウンロードしてください。市販の教科書を新たに購入することはありません。すでに持っている初級の文法教科書を活用しましょう。

参考文献コメント

独和辞典を持参してください。ネット上の翻訳アプリなどは意味がないので使用しないこと。初級で用いた文法教科書を活用しましょう。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

皆さんの積極的な参加が必要不可欠です。期待しています。
授業前20分、教室または講師控室で、それ以外はメールでの質問を受け付けます。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001113	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)13		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語圏における様々なテーマ(歴史、社会、生活など)について、ドイツ語テキストを読みながら学んでいくことを目的とした授業です。初級文法を終えた学生を対象として、できるだけ多くのドイツ語を読み、文法事項の確認や語彙の増強を図ります。

到達目標

辞書を引きながらであればある程度のドイツ語読解ができるようになること、またそれによって日本語・英語に加えてドイツ語圏における情報へも目を向け、物事を相対的に判断できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンス
第2回	Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (1) テキスト読解①
第3回	Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (2) テキスト読解②
第4回	Lektion1 Brot・Wurst・Döner Kebab (3) 文法確認
第5回	Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (1) テキスト読解①
第6回	Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (2) テキスト読解②
第7回	Lektion2 Herr Böse und Herr Streit (3) 文法確認
第8回	Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (1) テキスト読解①
第9回	Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (2) テキスト読解②
第10回	Lektion3 Berlin - Eine wunderbare Stadt (3) 文法確認
第11回	Lektion4 Der süße Brei (1) テキスト読解①
第12回	Lektion4 Der süße Brei (2) テキスト読解②
第13回	Lektion4 Der süße Brei (3) 文法確認
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (1) テキスト読解①
第17回	Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (2) テキスト読解②
第18回	Lektion5 Wiener Kaffeehauskultur (3) 文法確認
第19回	Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (1) テキスト読解①
第20回	Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (2) テキスト読解②
第21回	Lektion6 Abschlussprüfung・Verdammt heiß hier unten! (3) 文法確認
第22回	Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (1) テキスト読解①
第23回	Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (2) テキスト読解②
第24回	Lektion7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe (3) 文法確認
第25回	Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (1) テキスト読解①
第26回	Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (2) テキスト読解②
第27回	Lektion8 Geschichte der Gastarbeiter・Menschen mit Migrationshintergrund (3) 文法確認
第28回	Lektion9 Vom deutschen Stil 文法確認
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

授業では主にグループワークを行い、読解や文法に関する課題をお互いに議論しながら一緒に解いてもらいます。教員は適宜質疑応答を行い、全体確認の形でフィードバックを行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

WebClassを通じたオンデマンド授業を行います。適宜課題を出しますので、期日内に提出してください。

試験は期末課題を代替とします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 読解するテキストの音声を視聴し、音読練習/扱う文法事項について昨年の学習内容を確認(30分程度)

復習: 授業内で扱ったテキストの訳や間違えていた課題の見直し(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20%	オンライン形式によるテスト課題
学年末試験(第2学期)	20%	オンライン形式によるテスト課題
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60%	各回ごとに課される課題に対する評価
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

対面形式での実施が困難になった場合は、備考欄に記載の評価方法とします。
グループワークや教員が指示した課題に対する授業中の成果を平常点として評価します。
期末試験では、授業内で扱ったテキストに関する問題を出します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。
試験は採点后、返却と解説を行います。

教科書

ドイツ語トライアングル, 荻原耕平/畠山寛/高本教之, 同学社, 2018, 978-4-8102-0698-2

参考文献コメント

辞書は必ず毎回持参すること。
また、必要に応じて初級時の教科書も参照してください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

グループワーク中心ですので、疑問があったら1人で抱え込まずに共有し、お互いに知識をシェアして助け合いながら課題に取り組んでください。教員は最大限サポートしますので、気軽に声をかけてください。いい質問の場合は平常点として加算もします。
連絡は授業時間前後、もしくはG-PortやWebClassを通じて行います。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001114	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)14		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	岡田 啓美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 対面授業		

授業概要

やさしいドイツ語の文章を読み、練習問題をこなすことによって、初級ドイツ語の発音、文法、読解力の定着を目指す。なお、初回は初級文法の復習を行なうので、ベーシックで使用した教科書を持参すること。

到達目標

辞書を使って、自力でドイツ語の文章を読んだり、ドイツ語でコミュニケーションを取れるようになる

授業内容

実施回	内容
第1回	初級文法(ドイツ語の基本構造)・発音の復習、DVD観賞(ドイツという国)
第2回	初級文法の復習(動詞の人称変化、格変化)、DVD観賞
第3回	関係代名詞、接続法
第4回	テキスト講読(1)
第5回	テキスト講読(2)
第6回	テキスト講読(3)
第7回	テキスト講読(4)
第8回	テキスト講読(5)
第9回	テキスト講読(6)
第10回	テキスト講読(7)
第11回	テキスト講読(8)
第12回	テキスト講読(9)
第13回	第1学期のまとめ(1) DVD観賞
第14回	第1学期のまとめ(2)
第15回	まとめ
第16回	前期の復習、DVD観賞(オクトーバーフェスト)
第17回	テキスト講読(10)
第18回	テキスト講読(11)、DVD鑑賞(ドイツ再統一)
第19回	テキスト講読(12)
第20回	テキスト講読(13)
第21回	テキスト講読(14)
第22回	テキスト講読(15)、DVD鑑賞(ベルリンの壁崩壊)
第23回	テキスト講読(16)
第24回	テキスト講読(17)
第25回	テキスト講読(18)
第26回	テキスト講読(19)
第27回	テキスト講読(20)
第28回	第2学期のまとめ、DVD観賞(ドイツのクリスマス)
第29回	年間総まとめ
第30回	まとめ

授業計画コメント

上にも書いたとおり、初回は、初級文法の復習・補足説明を行うので、必ずベーシックで使用した教科書を持参すること。辞書は初級で使用したものを引き続き使用して下さい。

授業方法(対面授業の場合)

基本は学生諸君がテキストの訳読や練習問題をやる形になりますが、適宜文法説明や関連映像の上映も行なっていきます。

授業方法(遠隔授業の場合)

webclassのチャット、またはZoomによる同時双方向授業を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次週授業で進む範囲は指示するので、その範囲はしっかり読んで訳してくること

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% レポート:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は後期初回授業時に返却し、前期の復習に活用します。

教科書

ドイツ人を知る9章+1,大谷弘道,三修社,2007,978-4-384-13082-9

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001115	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)15		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	青木 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

基本文法を終えた学習者を対象とする講読の講座です。ドイツ語圏の様々な作家による質の高いテキストの抜粋を読みながら、作家のみならず、文化・芸術・思想にも触れたいと思います。また、各課の練習問題を通して、語彙の成り立ち、初級文法の復習、テキストの内容把握を行っていきます。

到達目標

テキストを精読することで、長い文章を正確に読み取る力をつけることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション:ドイツ語とドイツ語圏の文化
第2回	はじめに:ドイツ人の思想
第3回	レッスン1:モーツァルトの手紙
第4回	レッスン1:リルケの手紙
第5回	レッスン2:グリム兄弟『蛙の王様』
第6回	レッスン2:練習問題
第7回	接続法の復習
第8回	レッスン3:ヨハンナ・シュピリ『アルプスの少女ハイジ』
第9回	レッスン3:練習問題
第10回	レッスン4:ライナー・マリア・リルケ『秋の日』
第11回	レッスン4:練習問題
第12回	レッスン5:ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ『若きウェルテルの悩み』
第13回	レッスン5:練習問題
第14回	レッスン6:ことわざと名言とアフォリズム
第15回	理解度の確認
第16回	レッスン7:オトフリート・プロイスラー『クラバート』
第17回	レッスン7:練習問題
第18回	レッスン8:フランツ・カフカ『変身』
第19回	レッスン8:練習問題
第20回	関係代名詞の復習
第21回	レッスン9:パウル・ツェラン『死のフーガ』
第22回	レッスン10:リヒャルト・フォン・ヴァイツェッカー『1985年5月8日の演説』
第23回	レッスン10:練習問題
第24回	レッスン11:ベルンハルト・シュリンク『朗読者』前半
第25回	レッスン11:ベルンハルト・シュリンク『朗読者』後半
第26回	レッスン11:練習問題
第27回	レッスン12:トーマス・マン『ヴェニスに死す』前半
第28回	レッスン12:トーマス・マン『ヴェニスに死す』後半
第29回	レッスン12:練習問題
第30回	理解度の確認

授業方法(対面授業の場合)

履修者にテキストの音読と日本語訳を担当してもらいながら、それについて教師が解説を加える演習形式で進めていきます。

授業方法(遠隔授業の場合)

項目に応じて、zoomを使用した同時配信型か、webclassを使用した資料提供型で進めていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 予めテキストを読み、不明な点を確認し、ノートに日本語訳を書いておくこと: 60分

復習: 授業で学習した内容をノートにまとめること: 30分

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業中の積極的な参加態度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

第一学期の試験は、第二学期の最初の授業で返却し、解説を行います。

小テストは返却し、授業内で解説を行います。

教科書

ドイツ語を読む 改訂版, Susanne Schermann・相原剣, 朝日出版社, 改訂, 2019, 978-4-255-25417-3

教科書コメント

教科書を使って授業を進めますので、必ず購入しておくこと。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001116	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)16		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	石井 寿子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 対面授業		

授業概要

各課2回のペースで読み進めます。本文を発音練習し、文法の知識を応用して日本語に訳します。

到達目標

ドイツ人の日常生活を知り、同時にドイツ語のテキストを読みこなせる語学力をつけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	Kapitel 1 Geburt (1)
第3回	Kapitel 1 Geburt (2)
第4回	Kapitel 2 Schule (1)
第5回	Kapitel 2 Schule (2)
第6回	Kapitel 3 Jugendliche in der Gesellschaft (1)
第7回	Kapitel 3 Jugendliche in der Gesellschaft (2)
第8回	Kapitel 4 Jugend und Freizeit (1)
第9回	Kapitel 4 Jugend und Freizeit (2)
第10回	Kapitel 5 Feiertage und Ferien (1)
第11回	Kapitel 5 Feiertage und Ferien (2)
第12回	Kapitel 6 Schulabschluss und Berufsausbildung (1)
第13回	Kapitel 6 Schulabschluss und Berufsausbildung (2)
第14回	第1学期のまとめ
第15回	第1学期のおさらい(解説)
第16回	Kapitel 7 Beruf (1)
第17回	Kapitel 7 Beruf (2)
第18回	Kapitel 8 Studieren in Deutschland (1)
第19回	Kapitel 8 Studieren in Deutschland (2)
第20回	Kapitel 9 Wie junge Leute wohnen (1)
第21回	Kapitel 9 Wie junge Leute wohnen (2)
第22回	Kapitel 10 Heirat
第23回	Kapitel 11 Familie
第24回	Kapitel 12 Haushalt
第25回	Kapitel 13 Arbeitsplatz
第26回	Kapitel 14 Aspekte gesellschaftlichen Lebens
第27回	Kapitel 15 Lebensabend
第28回	第2学期のまとめ
第29回	第2学期のおさらい(解説)
第30回	1年間の復習

授業方法(対面授業の場合)

長文をドイツ人と同じスピードで音読する訓練をします。次に日本語に訳していただきます。折に触れドイツ事情を解説します。

授業方法(遠隔授業の場合)

オンライン授業の場合はZOOMで配信します

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

必ず事前に読み、解らないところをチェックして、授業で質問して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1・第2学期の筆記試験の結果と平常点を合わせ、60点以上を合格とします。3分の2以上の出席を試験を受ける資格とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

筆記試験は答え合わせと解説をして、正しかったか、どこが間違っていたのかを確認します。

教科書

ドイツ人の一生,ラーブ・石井,朝日出版社,改訂,2015,978-4-255-25233-9

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821002101	科目ナンバリング	002D323
講義名	ドイツ語R(上級)		
英文科目名	German (Advanced Course; Reading)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

テキスト理解を深めるのに必要なドイツ語圏の社会、文化、歴史等に関する知識を踏まえた、高度な読解力を身につけることを目標とする。扱うテキストはできる限り受講者の希望に沿ったものを使用する。テキストの難易度は独検2級～準1級のレベルを想定している。

到達目標

各種のドイツ語文章を、文法を踏まえ、更に、社会や文化、歴史的背景等も考慮し、より深く読み解くことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(1)
第3回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(2)
第4回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(3)
第5回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(4)
第6回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(5)
第7回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(6)
第8回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(7)
第9回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(8)
第10回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(9)
第11回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(10)
第12回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(11)
第13回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(12)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(13)
第17回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(14)
第18回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(15)
第19回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(16)
第20回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(17)
第21回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(18)
第22回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(19)
第23回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(20)
第24回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(21)
第25回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(22)
第26回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(23)
第27回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(24)
第28回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(25)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

対面授業を行う予定であるが、状況によっては遠隔授業に全面的または部分的に切り替える可能性がある。遠隔授業を行う場合はZoomを使用する予定である。

授業方法(対面授業の場合)

読解中心になるが、その都度テキストの内容や背景に関し、受講者が意見を述べたり、討論するような形にしたいと思っているので、受講者には積極的に意見や感想を述べて貰いたい。また、最初のテキスト以外は、出来る限り受講者の興味関心に沿ったテキストを読みたいと思っているので、読みたいと思う分野、或いはテキストそのものを遠慮せずに提案して欲しい。出来るだけ多くの文章を読みたいとは思っているが、消化不良を起こしては意味がないので、無理のない進捗で進めるつもりである。

また、時間の許す限りにおいて、テキスト理解やドイツ語圏の生活・文化理解のために、写真等も見る予定である。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを使った同時配信型の授業を行う予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予定した範囲の文章を事前に和訳し、理解する(約2時間)。読み合わせた部分の重要事項を事後に再確認し、覚える(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

遠隔授業に変更された場合は、試験はオンラインで行い、また、評価項目および評価配分が変更になることがある。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書コメント

プリント配布。

参考文献

独和辞典, 富山・他, 郁文堂, 2

独和大辞典, 国松／岩崎・他, 小学館, 2

中級ドイツ文法, 中山豊, 白水社

[改訂版] 詳解ドイツ語文法, 在間進, 大修館書店

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100101	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)1		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。
 実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。
 初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。
 教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。
 会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)A1を到達目標とします。
 「ごく簡単な表現を聞きとれて、基本的な語句で自分の名前や気持ちを伝えられる」ことから始め、
 「日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる」ようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	出会いの挨拶と別れの挨拶
第2回	自己紹介、出身国とことば
第3回	アルファベット、電話での会話
第4回	ごきげんよう、家族の紹介
第5回	住んでいる場所、1から20まで数える
第6回	人に関して説明する
第7回	物の名前と量
第8回	買い物での会話
第9回	21から100まで数える、好みを表現する
第10回	場所について尋ねる
第11回	住まいを説明する
第12回	満足と不満の表現
第13回	色
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	100から100万までの数
第17回	住まいの広告
第18回	時間の言い方
第19回	曜日の言い方
第20回	日常の行動
第21回	営業時間
第22回	天気、季節
第23回	買い物とレストランでの会話
第24回	同意、反論、否定
第25回	余暇と趣味
第26回	能力
第27回	意図を伝える、意志を伝える
第28回	過去のことを描写する、過去の行動について話す
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

履修者数制限あり。
 第1回目の授業に必ず出席のこと。対面授業で行う予定です。対面授業ができない場合にはZoomによる遠隔授業です。

授業方法(対面授業の場合)

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomで対面授業と同じ内容を学習します。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

毎日15分づつ、その週にやったことを復習してください。習った会話が口をついて出てくるようにしましょう。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

Schritte international neu 1 (Kursbuch + Arbeitsbuch) ,Daniela Niebisch,Hueber,978-3-19-301082-7

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100102	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)2		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 遠隔授業		

授業概要

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とした授業です。ドイツに行った時、ドイツ人と知り合った時に使えるような日常的な会話を通して、ドイツ語の基礎や基本単語・表現を学んでいきます。
教科書以外でもドイツの歌や映像を紹介していきますので、言葉だけでなく、ドイツの社会や文化に対する理解も深めてほしいと思います。

到達目標

あいさつ、自己紹介、買い物、趣味、道を尋ねるなど、ドイツに行った時やドイツ人と知り合った時にまず必要になる会話力を身につけること、辞書を用いて簡単な文章を読めるようになること。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット
第2回	0課 発音
第3回	1課 あいさつ 1
第4回	1課 あいさつ2
第5回	2課 紹介 1
第6回	2課 紹介 2
第7回	2課 紹介 3
第8回	3課 持ち物 1
第9回	3課 持ち物 2
第10回	3課 持ち物 3
第11回	4課 食事 1
第12回	4課 食事 2
第13回	4課 食事 3
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	前期の復習
第17回	5課 家族 1
第18回	5課 家族 2
第19回	6課 好きなこと 1
第20回	6課 好きなこと 2
第21回	6課 好きなこと 3
第22回	7課 ファッション 1
第23回	7課 ファッション 2
第24回	8課 街にて 1
第25回	8課 街にて 2
第26回	9課 休暇 1
第27回	9課 休暇 2
第28回	9課 休暇 3
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方法(対面授業の場合)

状況によって数回対面授業を行う可能性があります。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを使った同時配信型授業になります。全体での授業の他に、少人数のブレイクアウトルームで会話の練習をします。

LMS(manaba)にドリルや課題を用意します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

語学は反復して勉強するほど身につきます。授業で習った箇所をできるだけ多く音読してください。また、毎回課題(教科書の練習問題、テキストの読解など)を出しますので、必ずやってくるようにしてください(復習と課題で約1時間。できれば、1日にまとめてするのではなく、何回かに分けて勉強してください。)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業への参加度、ドリルや課題の提出などが含まれます。対面による学期末テストが行えない場合は比率が変更になります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題やテストはコメントを付けて返却、あるいは授業内でコメントします。

教科書

クラッセ！ノイ 初級ドイツ語総合読本,谷澤優子,白水社,9784560064214

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業の最後に毎回アンケートを取りますので、質問等を書いてください。
授業時以外では、manabaの掲示板、Webclassのメールから連絡をお願いします。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100103	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)3		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 遠隔授業		

授業概要

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とした授業です。ドイツに行った時、ドイツ人と知り合った時に使えるような日常的な会話を通して、ドイツ語の基礎や基本単語・表現を学んでいきます。
教科書以外でもドイツの歌や映像を紹介していきますので、言葉だけでなく、ドイツの社会や文化に対する理解も深めてほしいと思います。

到達目標

あいさつ、自己紹介、買い物、趣味、道を尋ねるなど、ドイツに行った時やドイツ人と知り合った時にまず必要になる会話力を身につけること、辞書を用いて簡単な文章を読めるようになること。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット
第2回	発音
第3回	1課 あいさつ 自己紹介等 1
第4回	1課 あいさつ 自己紹介等 2
第5回	1課 あいさつ 自己紹介等 3
第6回	2課 職業等 1
第7回	2課 職業等 2
第8回	3課 友達の紹介等 1
第9回	3課 友達の紹介等 2
第10回	3課 友達の紹介等 3
第11回	4課 食べ物等 1
第12回	4課 食べ物等 2
第13回	4課 食べ物等 3
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	前期の復習
第17回	5課 住まい等 1
第18回	5課 住まい等 2
第19回	6課 家族等 1
第20回	6課 家族等 2
第21回	7課 趣味等 1
第22回	7課 趣味等 2
第23回	7課 趣味等 3
第24回	8課 贈り物等 1
第25回	8課 贈り物等 2
第26回	9課 予定等 1
第27回	9課 予定等 2
第28回	10課 街の中等 1
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方法(対面授業の場合)

状況によって数回対面授業を行う可能性があります。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを使った同時配信型授業になります。全体での授業の他に、少人数のブレイクアウトルームで会話の練習をします。

LMS(manaba)にドリルや課題を用意します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

語学は反復して勉強するほど身につきます。授業で習った箇所をできるだけ多く音読してください。また、毎回課題(教科書の練習問題、テキストの読解など)を出しますので、必ずやってくるようにしてください(復習と課題で約1時間。できれば、1日にまとめてするのではなく、何回かに分けて勉強してください。)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業への参加度、ドリルや課題の提出などが含まれます。対面による学期末テストが行えない場合は比率が変更になります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題やテストはコメントを付けて返却、あるいは授業内でコメントします。

教科書

シュピッツェ 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語,新倉真矢子他,朝日出版社,978-4-255-25422-7

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業の最後に毎回アンケートを取りますので、質問等を書いてください。
授業時以外では、manabaの掲示板、Webclassのメールから連絡をお願いします。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100104	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)4		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	石井 寿子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語を読み、書き、話し、聞く能力の文法基盤を習得します。

到達目標

基本的なドイツ語の文法事項を一通り網羅し、簡単な文を作れ、理解できるようにします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	Lektion 1 A/B Kursbuch 教科書
第3回	Lektion 1 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第4回	Lektion 1 C/D/E Kursbuch 教科書
第5回	Lektion 1 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第6回	Lektion 2 A/B Kursbuch 教科書
第7回	Lektion 2 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第8回	Lektion 2 C/D/E Kursbuch 教科書
第9回	Lektion 2 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第10回	Lektion 3 A/B/C Kursbuch 教科書
第11回	Lektion 3 A/B/C Arbeitsbuch ワークブック
第12回	Lektion 3 D/E Kursbuch/Arbeitsbuch 教科書/ワークブック
第13回	第1学期の復習
第14回	第1学期のまとめ(筆記試験)
第15回	第1学期のおさらい(解説)
第16回	Lektion 4 A/B Kursbuch 教科書
第17回	Lektion 4 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第18回	Lektion 4 C/D/E Kursbuch 教科書
第19回	Lektion 4 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第20回	Lektion 5 A/B Kursbuch 教科書
第21回	Lektion 5 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第22回	Lektion 5 C/D/E Kursbuch 教科書
第23回	Lektion 5 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第24回	Lektion 7 A/B Kursbuch 教科書
第25回	Lektion 7 A/B Arbeitsbuch ワークブック
第26回	Lektion 7 C/D/E Kursbuch 教科書
第27回	Lektion 7 C/D/E Arbeitsbuch ワークブック
第28回	第2学期の復習
第29回	第2学期のまとめ(筆記試験)
第30回	第2学期のおさらい(解説)

授業計画コメント

教科書(Kursbuch)とワークブック(Arbeitsbuch)が一緒になっており、1課4回のペースで進めていきます。

授業方法(対面授業の場合)

各課教科書で文法のポイントを押さえ、ワークブックで練習し使えるようにします。

授業方法(遠隔授業の場合)

各課教科書で文法のポイントを押さえ、ワークブックで練習し使えるようにします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

課題となった練習問題は必ずやってくること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

筆記試験と平常点を合わせ60点以上を合格とします。3分の2以上の出席を試験を受けられる資格とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習問題と筆記試験は答え合わせと解説をして、どこが間違っていたか、何が理解できていないかを把握できるようにします。

教科書

Schritte international Neu 1Kursbuch + Arbeitsbuch mit Audio-CD zum Arbeitsbuch und interaktiven Übungen, Monika Bovermann, Daniela Niebisch, Franz Specht, Monika Reimann, Sylvette Penning-Hiemstra, Hueber, 最新版, 978-3-19-301082-7

参考文献コメント

独和辞典があると好ましい(電子辞書も可)

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100105	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)5		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	川口 眞理		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 対面授業		

授業概要

言語の仕組みを学ぶドイツ語Bに対して、ドイツ語Cでは対話練習を中心に、日常的な場面で応用の効く「型」となる表現を数多く覚えます。合わせてドイツ語圏社会・文化に関する知識も得ます。

到達目標

日常的な場面において役立つドイツ語表現を数多く覚え、基本的なコミュニケーション能力を身につけます。ドイツ語技能検定(独検)4～3級レベルのドイツ語運用能力が得られます。

授業内容

実施回	内容
第1回	Lektion 0 正しく発音しよう:アルファベート
第2回	Lektion 0 正しく発音しよう:綴りと発音
第3回	Lektion 1 自己紹介しよう:動詞の現在人称変化
第4回	Lektion 1 自己紹介しよう:疑問文
第5回	Lektion 2 買い物しよう:名詞の性・複数形
第6回	Lektion 2 買い物しよう:冠詞の使い分け
第7回	Lektion 3 カフェで注文しよう:名詞の格変化
第8回	Lektion 3 カフェで注文しよう:人称代名詞の格変化
第9回	Lektion 3 カフェで注文しよう:再帰代名詞
第10回	Lektion 4 外出しよう:2格・3格・4格支配の前置詞
第11回	Lektion 4 外出しよう:3・4格支配の前置詞
第12回	Lektion 5 お願いしよう:命令形
第13回	Lektion 5 お願いしよう:話法の助動詞
第14回	理解度の確認・1学期末試験
第15回	振り返り・まとめ
第16回	Lektion 6 待ち合わせしよう:数詞・形容詞の格変化
第17回	Lektion 6 待ち合わせしよう:形容詞の比較表現・形容詞の名詞化
第18回	Lektion 7 1日を語ろう:分離動詞・非分離動詞
第19回	Lektion 7 1日を語ろう:zu不定詞句の用法
第20回	Lektion 8 過去を語ろう:動詞の三基本形・時制について
第21回	Lektion 8 過去を語ろう:過去人称変化
第22回	Lektion 8 過去を語ろう:未来形
第23回	Lektion 9 体験を語ろう:現在完了形
第24回	Lektion 9 体験を語ろう:受動態
第25回	Lektion 9 体験を語ろう:状態受動
第26回	Lektion 10 条件をつけて語ろう:名詞節をつくる従属の接続詞
第27回	Lektion 10 条件をつけて語ろう:副詞節をつくる従属の接続詞 定関係代名詞文
第28回	Lektion 10 条件をつけて語ろう:定関係代名詞文 関係副詞
第29回	理解度の確認・学年末試験(授業内試験)
第30回	振り返り・まとめ

授業計画コメント

授業進度は目安です。

授業方法(対面授業の場合)

対面授業とそれをサポートするパワーポイント資料(Webclass経由で配信)を1セットにして毎回の授業を進めていきます。毎週の課題は画像データや音声データにしてWebclassに提出していただき、対面授業で解説します。

授業方法(遠隔授業の場合)

オンデマンド型授業となります。解説つきパワーポイント資料をWebclassを通して配信し、課題を音声データや画像データにして

Webclassに提出していただき、次回資料で解答と解説を提示します。また掲示板やメールを通して質問や相談を受け付けます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

原則予習は必要ありませんが、復習は必須です。毎回課題が出ます(1~2時間程度)。ノートに手書きで全文を書き写し、ドイツ語音声聴き発音練習をしてください。そのノートを画像データ化したものや朗読音声データをWebclassに提出していただきます。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	対面の試験ができない場合はオンライン試験かレポートでこれに替える。
学年末試験(第2学期)	40 %	対面の試験ができない場合はオンライン試験かレポートでこれに替える。
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	課題提出の回数と内容
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(授業への姿勢、毎回の課題提出)40%、2回の期末試験60%で評価します。ただし新型コロナの感染状況による授業形態への影響次第では、上記バランスは変更される可能性があります。また対面での試験がオンライン試験かレポートに変わる可能性もあります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は次回の対面授業ないしパワーポイント資料内で解説の上、解答を提示します。第1学期末試験は第2学期授業で講評の上返却します。最終授業日に行われる第2学期末の学年末試験は返却されません。

教科書

クマといっしょにドイツ語,羽根田知子/熊谷知美/ハイケ・ピナウ,朝日出版社,初,2022,9784255254500

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100106	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)6		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加してください。「ドイツ語は難しい」という偏見をとりはらって、楽しんで聞いたり話したるするうちに、自然にドイツ語が少しずつ使えるようになります。会話練習だけでなく、ドイツの文化にも触れられるよう、ドイツの音楽、映画、歴史についても授業中に紹介します。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

基本的な会話(例えば、自分や家族の紹介、買い物、仕事など)が出来るようになる。簡単な言葉や表現を使って、質問や説明が出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(1)
第3回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(2)
第4回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(3)
第5回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(1)
第6回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(2)
第7回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(3)
第8回	Lektion 3 食べ物と飲み物(1)
第9回	Lektion 3 食べ物と飲み物(2)
第10回	Lektion 3 食べ物と飲み物(3)
第11回	Lektion 4 住居に関して(1)
第12回	Lektion 4 住居に関して(2)
第13回	Lektion 4 住居に関して(3)
第14回	まとめ
第15回	総括
第16回	第1学期の復習
第17回	Lektion 5 一日の出来事について(1)
第18回	Lektion 5 一日の出来事について(2)
第19回	Lektion 5 一日の出来事について(3)
第20回	Lektion 5 一日の出来事について(4)
第21回	Lektion 6 余暇について(1)
第22回	Lektion 6 余暇について(2)
第23回	Lektion 6 余暇について(3)
第24回	Lektion 6 余暇について(4)
第25回	Lektion 7 趣味と勉強(1)
第26回	Lektion 7 趣味と勉強(2)
第27回	Lektion 7 趣味と勉強(3)
第28回	Lektion 7 趣味と勉強(4)
第29回	まとめ
第30回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみましよう。

授業方法(対面授業の場合)

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoom/Webex, Moodle

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20% 出席および授業への参加度、授業内の小テストで評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International 1 NEU (Kursbuch + Arbeitsbuch),hueber,2016,978-3-19-301082-7

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100107	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)7		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語Bでは文法ルールの理屈が重要だが、ドイツ語Cは文法はほどほどにして、たくさんの方の口頭練習と筆記練習に時間が割かれる。使用するテキストは日常的語彙も豊富である。ドイツ語に慣れ親しんでもらうために、グループやペアでの対話練習を多く行う。

到達目標

日常的基本的な表現や対話のパターンを言ったり書いたりできるようになる。
この講座で扱う文法はドイツ語Bの3分の2ほどなので、ドイツ語Bを履修せずに、2年目のドイツ語(中級)を履修するのは無理があると思ってほしい(独習によってその分を補おうと思うなら、よい)。

授業内容

実施回	内容
第1回	第1課(1)挨拶と自己紹介。
第2回	第1課(2)数字を覚える。発音。
第3回	第2課(1)名前や出身地などを尋ねる。
第4回	第2課(2)動詞の現在人称変化。
第5回	第3課(1)年齢・職業・趣味・専攻を問う。
第6回	第3課(2)同様の練習の続き。
第7回	第4課(1)名詞の性「これはスプーンです。」「そのサラダは新鮮です。」
第8回	第4課(2)名詞の複数形。いろんな食品の買い物をする。「～はいくらですか」
第9回	第4課(3)不規則変化動詞の現在人称変化。「朝食に卵を食べ、コーヒーを2杯飲む」
第10回	第5課(1)語順の理解。助動詞の使い方。
第11回	第5課(2)時刻。
第12回	文章の読解(1)これまでの勉強のまとめ。
第13回	文章の読解(2)辞書を活用して、短く易しい文章の読解。
第14回	理解度の確認。
第15回	まとめ。
第16回	期末テストの返却。現在完了の概略説明。
第17回	第6課(1)テキストの文章の訳と解説。
第18回	第6課(2)文章理解。
第19回	第6課(3)話し書く練習。
第20回	第7課(1)前置詞の基本。
第21回	第7課(2)前置詞の練習。
第22回	第8課(1)「～に…を贈る」パターン練習。
第23回	第8課(2)形容詞・副詞の比較。
第24回	文章読解(1)文法:受身。
第25回	文章読解(2)文法:再帰動詞。
第26回	文章読解(3)文法:副文(従属節)。
第27回	文章読解(4)文法:非人称のesとzu不定句。
第28回	文章読解(5)文法:関係文。
第29回	理解度の確認。
第30回	まとめ。

授業計画コメント

全部で8課のテキストを、おおよそ1課につき2～3回の授業でこなしてゆく。第1学期・第2学期とも期末試験の前に少し長い文章を読む練習をしたい。とくに第2学期の終わりには、テキストで扱われなかった文法を説明して、その課題を含む文章を読解したい。

授業方法(対面授業の場合)

説明はなるべく少なくし、受講者がたくさんしゃべり、書くことを授業の中心にする。

授業方法(遠隔授業の場合)

仮想の対話を受講者に求めて、要領を覚えてもらう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次の授業時に行われる範囲の予習(とくに単語の意味を調べることとCDを聞いて発音を覚えること)を要求する(1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

少しずつの積み重ねが大切なので、それを学期末試験と平常点で確認する。だが、最後にどれくらい理解し、できるようになったかが最も重要なので、学年末試験に重きを置く。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業の中で全体に向けてフィードバックを行なう。

教科書

改訂版・あっ、そう！―初級会話―、ブラウン、ザイデル、ヴィットキャンプ、和泉、同学社、13,2019,978-4-8102-0952-5

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100108	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)8		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加してください。「ドイツ語は難しい」という偏見をとりはらって、楽しんで聞いたり話したるするうちに、自然にドイツ語が少しずつ使えるようになります。会話練習だけでなく、ドイツの文化にも触れられるよう、ドイツの音楽、映画、歴史についても授業中に紹介します。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

基本的な会話(例えば、自分や家族の紹介、買い物、仕事など)が出来るようになる。簡単な言葉や表現を使って、質問や説明が出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(1)
第3回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(2)
第4回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(3)
第5回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(1)
第6回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(2)
第7回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(3)
第8回	Lektion 3 食べ物と飲み物(1)
第9回	Lektion 3 食べ物と飲み物(2)
第10回	Lektion 3 食べ物と飲み物(3)
第11回	Lektion 4 住居に関して(1)
第12回	Lektion 4 住居に関して(2)
第13回	Lektion 4 住居に関して(3)
第14回	まとめ
第15回	総括
第16回	第1学期の復習
第17回	Lektion 5 一日の出来事について(1)
第18回	Lektion 5 一日の出来事について(2)
第19回	Lektion 5 一日の出来事について(3)
第20回	Lektion 5 一日の出来事について(4)
第21回	Lektion 6 余暇について(1)
第22回	Lektion 6 余暇について(2)
第23回	Lektion 6 余暇について(3)
第24回	Lektion 6 余暇について(4)
第25回	Lektion 7 趣味と勉強(1)
第26回	Lektion 7 趣味と勉強(2)
第27回	Lektion 7 趣味と勉強(3)
第28回	Lektion 7 趣味と勉強(4)
第29回	まとめ
第30回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみましよう。

授業方法(対面授業の場合)

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoom/Webex, Moodle

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20% 出席および授業への参加度、授業内の小テストで評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International 1 NEU (Kursbuch + Arbeitsbuch),hueber,2016,978-3-19-301082-7

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100109	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)9		
副題	ドイツ語を使ってみよう!		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語に関する基礎知識を学びつつ、それをドイツ語による情報の受信・発信の能力につなげることを目的とする。

到達目標

ドイツ語の Text を読解したり、聞き取ったりする能力や、実際に自分からドイツ語の文を発話したり、書いたりする基礎的な力をつける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、挨拶の言葉
第2回	Lektion 1 あいさつ、つづりと発音 (母音の発音、長母音、二重母音)
第3回	Lektion 1 人と知り合う、つづりと発音 (子音の発音)
第4回	Lektion 1 紹介(名前・出身地・住まい)
第5回	Lektion 1 紹介(職業・趣味)
第6回	Lektion 2 時刻の表現
第7回	Lektion 2 人を誘う
第8回	Lektion 2 食べ物と飲み物
第9回	Lektion 3 所持品
第10回	Lektion 3 道案内
第11回	Lektion 3 家族
第12回	Lektion 4 買い物、値段
第13回	Lektion 4 プレゼント
第14回	第1学期のまとめと補足
第15回	第1学期の学習項目の理解度確認
第16回	第1学期期末試験 --- 解答と解説 ---
第17回	Lektion 5 天候
第18回	Lektion 5 週末の予定
第19回	Lektion 5 一日の行動
第20回	Lektion 6 夏休みの報告
第21回	Lektion 6 過去の出来事(1)
第22回	Lektion 7 位置の表現
第23回	Lektion 7 過去の出来事(2)
第24回	Lektion 7 物語
第25回	Lektion 8 病気
第26回	Lektion 8 計画
第27回	Lektion 8 文の組立て
第28回	Lektion 9 修理・家事
第29回	Lektion 9 開店・閉店時間、まとめと補足
第30回	学習理解度の確認

授業方法(対面授業の場合)

講義(場合によっては WebClass か Mail で課題等の受け渡しを行う事もある)

授業方法(遠隔授業の場合)

講義(場合によっては WebClass か Mail で課題等の受け渡しを行う事もある)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回はきちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却

教科書

アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語,飯田道子/江口直光,三修社,2017

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100110	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)10		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	METZING, Ronald Helmut Er		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 対面授業		

授業概要

授業の重点は日常的なコミュニケーションを問題なく行うための発音練習、身近な事柄についての口頭でのやりとりです。また授業ではドイツ語のみで行われます。グループワーク、インタビュー等の口頭での活動の他、初級ドイツ語を確実にしさらにステップアップするための他の3つの言語能力(聞く、書く、読む)も訓練します。また、文法の要素も重要不可欠です。学生には授業への積極的な参加が要求されます。また、毎回簡単な宿題を出します

到達目標

ドイツ語で的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる。
ドイツ語を発音するための音声学的な基礎を身につける。

日常的に頻繁に使用される簡単な文章を理解し、表現できる。(個人や家族の情報、買い物、仕事など)
身近なシチュエーションで簡単な基本的情報交換ができる
自分の身近な環境や事柄について簡単な言葉で記述することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	アルファベット、挨拶、数字、.....等
第2回	P9-11 第1課、こんにちは、私の名前は…です。
第3回	P12-14 こんにちは、私は…と申します。私の出身は…です。
第4回	P15-17 親称と敬称、つづりは…です。住所は…です。
第5回	P22-24 第2課 私の家族、ご機嫌いかがですか？
第6回	P25-27 こちらは私の兄です。人称代名詞、数。
第7回	P34-36 第3課、食べ物と飲み物、これは…ではありません。
第8回	P37-39 …はありますか？値段、おいくらですか？
第9回	P40-41 私の好物。
第10回	P46-48 第4課 私の住まい、不定冠詞と定冠詞。
第11回	P49-51 家具、色、…はいかがですか？
第12回	P52-53 不動産広告、私の机は…です。
第13回	復習 第1課から第4課
第14回	テスト
第15回	フィードバック
第16回	復習 第1課から第4課
第17回	P58-60 第5課 掃除
第18回	P61-63 時刻の読み方(口語的表現)、朝、昼、晩。
第19回	P64-65 時刻の読み方(公的表現)、ベルリンで何がありましたか？
第20回	P70-72 第6課 天気
第21回	P73-75 チーズはありますか？4格、否定と肯定の表現、余暇。
第22回	P76-77 ドイツ、オーストリア、スイスへの旅。
第23回	P82-83 第7課 学習
第24回	P84-85 私は…ができます、私は…がしたいです。
第25回	P86-87 現在完了(haben支配) 本当に楽しかった。
第26回	P88-89 現在完了(sein支配) 今日は町に行きました。
第27回	P92 おや、まあ、うーん…
第28回	復習 第5課から第7課
第29回	テスト
第30回	フィードバック

授業方法(対面授業の場合)

演習..ペアワークによる会話練習を行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

ZOOMによるオンラインになります。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

予習..単語の意味を調べる。復習...テキストを読んで内容を理解する。(1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	オンラインテスト
学年末試験(第2学期)	30 %	オンラインテスト
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の積極的な参加を重視。テストはテキストの範囲内で出題。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答案用紙を返却し、解説を行う(最終授業)

教科書

Schritte International neu 1,D. Niebisch,9783193010827

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100111	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)11		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	BRIEL, Rita		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 対面授業		

授業概要

アルファベットから始め、簡単な会話やテキストを用いて基本文法と話す力を養う訓練する。会話やテキストには、ドイツについての情報が含まれていて、異文化理解の助けとなる。正しい発音ができるようになるよう留意したい。きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

到達目標

初級のクラスで、ドイツ語の予備知識は必要ありません。文法と学習の仕方は日本語で説明します。家族と友人、飲食、勉強と余暇、買い物と旅行といったテーマについて簡単な表現で話せるようになります。また、これらのテーマについて書かれた簡単な文章を読んで理解できるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	自己紹介授業の説明、成績評価の説明
第2回	つづき、アルファベット発音
第3回	自己紹介とアルファベットの復習15分(口頭あるいは書き記しながら)、第1課 (自己紹介) (人称代名詞 動詞)
第4回	復習15分 (第1、2課) (家族や友達) 動詞と冠詞、冠詞の格変化、疑問文のある疑問文
第5回	復習15分 (第1、2課) 動詞、人称代名詞、所有冠詞(入門)
第6回	復習15分 (第1、2課) 定冠詞、不定冠詞、否定冠詞
第7回	テスト第1-2課、成績評価に大切
第8回	第3課(食べ物、飲み物)、単語と冠詞、不規則動詞、決定疑問文
第9回	復習15分、第3課、否定冠詞、名詞の複数形
第10回	第3課の復習、第4課前半(お住まい) 定冠詞類の使い方、副詞(ここ、そこ)
第11回	第4課の復習、数詞
第12回	第4課の復習、数詞
第13回	ドイツの映画
第14回	第1-4課の復習
第15回	テスト第1-4課
第16回	第1-4課の復習、数詞、第1課の冒頭部分、単語、与格代名詞
第17回	復習15分、第4課後半、形容詞、否定副詞、3格の人称代名詞
第18回	第4課の中の新聞の記事を読む、練習
第19回	復習15分、第5課(私の一日)、時間と時間の前置詞
第20回	復習15分、曜日、分離動詞
第21回	第5課の復習
第22回	テスト第4-5、成績評価に大切
第23回	第6課(暇) 天気、買い物、レストランでの会話、4格の冠詞、代名詞、不規則動詞、
第24回	復習15分、第6課、助動詞/1、ja-nein-doch
第25回	第6課の復習
第26回	復習15分、第7課(外国語を学ぶ、外国語の学び方) 助動詞/2
第27回	復習15分、第7課、現在完了形
第28回	復習15分、第7課、現在完了形続き
第29回	テストの説明 第6課、第7課
第30回	テスト

授業計画コメント

授業計画が変更になる可能性もあります。

授業方法(対面授業の場合)

授業方法(対面授業の場合) / Teaching Method (face-to-face lessons)
教科書を基に練習をします。

授業方法(遠隔授業の場合)

授業方法(遠隔授業の場合) / Teaching Method (online lessons)
Zoom

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

休まずに出席して下さい。しっかり勉強してテストに臨んで下さい。宿題が出されたときはちゃんとやって下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 中間テスト:20% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30%
大テストを第1学期に2度、第2学期に2度、小さな単語テストを何度か行う。60点をとることが合格の基準となる。きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行ったあとに学生に採点した試験を返します。

教科書

『Schritte international neu 1 (Kursbuch + Arbeitsbuch)』,D. Niebisch et. al.,Hueber Verlag ,newest ,978-3-19-301082-7

教科書コメント

出来るだけ早く教科書を購入して下さい。

参考文献コメント

特になし

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

office hour: please contact me: ribrie26@yahoo.de

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100112	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)12		
副題	Studio 21 (A1)		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	清野 智昭		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

テーマごとに基本的な語彙や表現を身につけ、文法知識を使えるものにします。ドイツ語の入門と基礎固めをしながら「話す」「聞く」「書く」「読む」能力をバランスよく習得することを目標とします。

到達目標

様々な場面(挨拶、喫茶店、都市の紹介、アポをとる、道案内など)やテーマ(職業、休暇、飲食、洋服、天気、健康)におけるドイツ語の表現をマスターします。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶表現;アルファベート
第2回	Lektion 1: 自己紹介の表現;疑問詞(wo, wohin)と前置詞(in, aus)
第3回	Lektion 1: カフェでの会話;平叙文と疑問文
第4回	Lektion 2: 教室での会話;単数形と複数形
第5回	Lektion 2: 教室での会話;定冠詞と不定冠詞、haben
第6回	Lektion 3: 国と都市;方角の表現
第7回	Lektion 3: 国と都市;seinの過去形、言語の名前
第8回	Lektion 4:人と住居;住居の描写
第9回	Lektion 4:人と住居;4格、所有冠詞、形容詞
第10回	Lektion 5: 時間の表現; 一日の予定、時刻
第11回	Lektion 5: 時間の表現; 分離動詞、habenの過去形
第12回	Lektion 6: 場所の表現: 道案内、3格
第13回	Lektion 6: 場所の表現: 建物の中の案内、序数
第14回	学期末試験
第15回	到達度確認と一学期の振り返り
第16回	一学期の復習
第17回	Lektion 7: 職業と活動: 職業の言い方、話法の助動詞(können, müssen)
第18回	Lektion 7: 職業と活動: 活動の言い方、所有冠詞の4格
第19回	Lektion 8: ベルリン: 道案内、3・4格支配の前置詞
第20回	Lektion 8: ベルリン: 遠足のプラン、話法の助動詞(wollen)
第21回	Lektion 9: 休暇: 休暇について話す、現在完了形(haben支配)
第22回	Lektion 9: 休暇: 事故の描写、現在完了形(sein支配)
第23回	Lektion 10: 飲食: 食料品の買い物、定冠詞類(welch-)
第24回	Lektion 10: 飲食: 食事の好み、比較級・最上級
第25回	Lektion 11: 衣服と天気: 衣服と色、形容詞の4格
第26回	Lektion 11: 衣服と天気: 天気予報、非人称表現(es)、話法の助動詞(mögen)
第27回	Lektion 12: 身体と健康: 症状を言う、命令形、話法の助動詞(dürfen)
第28回	Lektion 12: 身体と健康: スポーツについて話す、感情を表現する、人称代名詞の4格
第29回	学年末試験
第30回	到達度確認と一年間の振り返り

授業計画コメント

ドイツ語圏文化学科(1年次)のみを対象とした科目で、コミュニケーション演習(初級)1、2と同時履修することになっています。共通の教科書を用い、担当者間で内容や進度の確認をしながら進めていきます。

授業方法(対面授業の場合)

基本的に対面授業で演習形式で行います。主に下記の教科書を用いながら授業を進めます。パートナー練習、グループ練習なども含めて、なるべく多く発言することが求められます。

授業方法(遠隔授業の場合)

新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業にせざるを得ない場合は、同時配信型(Zoom使用)で、主に下記の教科書を用いながら授業を進めます。パートナー練習、グループ練習なども含めて、なるべく多く発言することが求められます。一部、LMS(manaba)でオンデマンド型の教材を配信します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

単語帳に挙がっている単語は毎回事前に目を通しておくこと。授業時に出た宿題を必ずやること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書の2つの課が終わるごとに小テストを授業中に行います。また、学期末または学年末には口頭試験を行います。そのほか、出席、宿題、授業中の参加姿勢を重視します。評価配分は、あくまで目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

LMS(manaba)を使用して、フィードバックします。

教科書

- Studio 21 (A1.1): Das Deutschbuch, Cornelsen
- Studio 21 (A1.2): Das Deutschbuch, Cornelsen
- Studio 21 (A1): Vokabeltaschenbuch, Cornelsen
- Studio 21 (A1): Glossar, Cornelsen

教科書コメント

以上のテキストはすべてそろえて必ず購入すること。購入方法は新学期ガイダンス時に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

原則として1年次に履修すること。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100113	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)13		
副題	Studio 21 (A1)		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	清野 智昭		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 対面授業		

授業概要

テーマごとに基本的な語彙や表現を身につけ、文法知識を使えるものにします。ドイツ語の入門と基礎固めをしながら「話す」「聞く」「書く」「読む」能力をバランスよく習得することを目標とします。

到達目標

様々な場面(挨拶、喫茶店、都市の紹介、アポをとる、道案内など)やテーマ(職業、休暇、飲食、洋服、天気、健康)におけるドイツ語の表現をマスターします。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶表現;アルファベート
第2回	Lektion 1: 自己紹介の表現;疑問詞(wo, wohin)と前置詞(in, aus)
第3回	Lektion 1: カフェでの会話;平叙文と疑問文
第4回	Lektion 2: 教室での会話;単数形と複数形
第5回	Lektion 2: 教室での会話;定冠詞と不定冠詞、haben
第6回	Lektion 3: 国と都市;方角の表現
第7回	Lektion 3: 国と都市;seinの過去形、言語の名前
第8回	Lektion 4:人と住居;住居の描写
第9回	Lektion 4:人と住居;4格、所有冠詞、形容詞
第10回	Lektion 5: 時間の表現; 一日の予定、時刻
第11回	Lektion 5: 時間の表現; 分離動詞、habenの過去形
第12回	Lektion 6: 場所の表現: 道案内、3格
第13回	Lektion 6: 場所の表現: 建物の中の案内、序数
第14回	学期末試験
第15回	到達度確認と一学期の振り返り
第16回	一学期の復習
第17回	Lektion 7: 職業と活動: 職業の言い方、話法の助動詞(können, müssen)
第18回	Lektion 7: 職業と活動: 活動の言い方、所有冠詞の4格
第19回	Lektion 8: ベルリン: 道案内、3・4格支配の前置詞
第20回	Lektion 8: ベルリン: 遠足のプラン、話法の助動詞(wollen)
第21回	Lektion 9: 休暇: 休暇について話す、現在完了形(haben支配)
第22回	Lektion 9: 休暇: 事故の描写、現在完了形(sein支配)
第23回	Lektion 10: 飲食: 食料品の買い物、定冠詞類(welch-)
第24回	Lektion 10: 飲食: 食事の好み、比較級・最上級
第25回	Lektion 11: 衣服と天気: 衣服と色、形容詞の4格
第26回	Lektion 11: 衣服と天気: 天気予報、非人称表現(es)、話法の助動詞(mögen)
第27回	Lektion 12: 身体と健康: 症状を言う、命令形、話法の助動詞(dürfen)
第28回	Lektion 12: 身体と健康: スポーツについて話す、感情を表現する、人称代名詞の4格
第29回	学年末試験
第30回	到達度確認と一年間の振り返り

授業計画コメント

ドイツ語圏文化学科(1年次)のみを対象とした科目で、コミュニケーション演習(初級)1、2と同時履修することになっています。共通の教科書を用い、担当者間で内容や進度の確認をしながら進めていきます。

授業方法(対面授業の場合)

基本的に対面授業で演習形式で行います。主に下記の教科書を用いながら授業を進めます。パートナー練習、グループ練習なども含めて、なるべく多く発言することが求められます。

授業方法(遠隔授業の場合)

新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業にせざるを得ない場合は、同時配信型(Zoom使用)で、主に下記の教科書を用いながら授業を進めます。パートナー練習、グループ練習なども含めて、なるべく多く発言することが求められます。一部、LMS(manaba)でオンデマンド型の教材を配信します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

単語帳に挙がっている単語は毎回事前に目を通しておくこと。授業時に出た宿題を必ずやること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書の2つの課が終わるごとに小テストを授業中に行います。また、学期末または学年末には口頭試験を行います。そのほか、出席、宿題、授業中の参加姿勢を重視します。評価配分は、あくまで目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

LMS(manaba)を使用して、フィードバックします。

教科書

Studio 21 (A1.1): Das Deutschbuch,Cornelsen

Studio 21 (A1.2): Das Deutschbuch,Cornelsen

Studio 21 (A1): Vokabeltaschenbuch,Cornelsen

Studio 21 (A1): Glossar,Cornelsen

教科書コメント

以上のテキストはすべてそろえて必ず購入すること。購入方法は新学期ガイダンス時に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

原則として1年次に履修すること。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100114	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)14		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科1年次の指定クラスです。読解力の養成に重点を置きながら、ネイティブ教員によるコミュニケーション授業と初級文法の授業を連携させることを狙いとしています。従って、文法練習や発音に関する練習も行います。ドイツ語B(初級)11もしくは12を合わせて履修することが望ましい。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになること。基本的な表現を使った会話ができ、聞き取りができるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、あいさつ(1)、ドイツ語の発音(1)
第2回	ドイツ語の発音(2)、数詞、あいさつ(2)等
第3回	「第1課 ベルリンに到着」(1)
第4回	「第1課 ベルリンに到着」(2)、「第2課 パン屋さんで」(1)
第5回	「第2課 パン屋さんで」(2)
第6回	「第3課 語学コース」(1)
第7回	「第3課 語学コース」(2)
第8回	「第4課 学生食堂へ」(1)
第9回	「第4課 学生食堂へ」(2)
第10回	「第5課 お医者さん」(1)
第11回	「第5課 お医者さん」(2)
第12回	「第6課 学生寮で」(1)
第13回	「第6課 学生寮で」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(1)
第17回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(2)
第18回	「第8課 美容院に行く」(1)
第19回	「第8課 美容院に行く」(2)
第20回	「第9課 ビアガーデンで」(1)
第21回	「第9課 ビアガーデンで」(2)
第22回	「第10課 ブティックで」(1)
第23回	「第10課 ブティックで」(2)
第24回	「第11課 フィリップの誕生日」(1)
第25回	「第11課 フィリップの誕生日」(2)
第26回	「第12課 帰国前」(1)
第27回	「第12課 帰国前」(2)
第28回	「第12課 帰国前」(3)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

すべて対面授業の予定です。対面授業が出来ない場合にはZoomを使います。またWebClassに課題を提出してもらった場合があります。

授業方法(対面授業の場合)

各課冒頭の会話文を音読・訳読し、文法の学習、練習問題を行い、まとめの文章を読みます。ほぼ毎回、短文暗記の小テストを行います。随時質問を受け付けるので、理解できない点や不明な点があれば、積極的に質問してください。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomで行う場合には、対面授業と同じ内容を扱います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

今回の授業で扱う箇所の予習と出された宿題は必ずやってくること。(約2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		対面授業を行えない場合には期末試験45%
学年末試験(第2学期)		対面授業を行えない場合には学年末試験45%
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

小テストは毎回の短文暗記のテストと各課のまとめテストです。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、質問を受け付けます。

教科書

ドイツ語の時間<恋するベルリン> Web改訂版 エピローグ付,清野智昭,朝日出版社,初,2019,9784255253930

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100115	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)15		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科1年次の指定クラスであり、読解力の養成に重点を置きながら、ネイティブ教員によるコミュニケーション授業と初級文法の授業を連携させることを狙いとする。従って、文法練習や発音に関する練習も行う。ドイツ語B(初級)11もしくは12を合わせて履修することが望ましい。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになる。基本的な表現を使った会話ができ、聞き取りができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイドンス、アルファベート、あいさつ(1)、ドイツ語の発音(1)
第2回	ドイツ語の発音(2)、数詞、あいさつ(2)等
第3回	「第1課 ベルリンに到着」(1)
第4回	「第1課 ベルリンに到着」(2)、「第2課 パン屋さんで」(1)
第5回	「第2課 パン屋さんで」(2)
第6回	「第3課 語学コース」(1)
第7回	「第3課 語学コース」(2)
第8回	「第4課 学生食堂へ」(1)
第9回	「第4課 学生食堂へ」(2)
第10回	「第5課 お医者さん」(1)
第11回	「第5課 お医者さん」(2)
第12回	「第6課 学生寮で」(1)
第13回	「第6課 学生寮で」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(1)
第17回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(2)
第18回	「第8課 美容院に行く」(1)
第19回	「第8課 美容院に行く」(2)
第20回	「第9課 ビアガーデンで」(1)
第21回	「第9課 ビアガーデンで」(2)
第22回	「第10課 ブティックで」(1)
第23回	「第10課 ブティックで」(2)
第24回	「第11課 フィリップの誕生日」(1)
第25回	「第11課 フィリップの誕生日」(2)
第26回	「第12課 帰国前」(1)
第27回	「第12課 帰国前」(2)
第28回	「第12課 帰国前」(3)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

対面授業を行う予定であるが、状況により、全面的または部分的に遠隔授業に変更することもある。

授業方法(対面授業の場合)

各課冒頭の会話文を音読・訳読し、文法の学習、練習問題をやった後、前に戻って会話文をまとめた文章の音読と訳読を行う(教科書の順番では会話文の直後にまとめの文章が置かれている)。

また、時間の許す限りでドイツの風習などを紹介する写真等も見るとの予定。随時質問を受け付けるので、理解できない点や不明な点があれば、積極的に質問すること。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業を行う場合はZoomを用い、同時配信授業を行う予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所の予習と出された宿題は必ずやってくること。(約2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

遠隔授業に変更された場合は、評価項目および評価配分を変更することもあり得る。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

ドイツ語の時間<恋するベルリン> Web改訂版 エピローグ付,清野智昭,朝日出版社,初,2019,9784255253930

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100116	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)16		
副題	コミュニケーション力をつけよう		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	飯田 道子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

初心者向けのクラスです。初級文法、基本単語・表現、正確なイントネーションと発音など、話す・聴く・書く・読むの4技能の訓練をバランスよく配置しながら、基礎的なコミュニケーション力の養成をめざします。

到達目標

初級文法に関する知識を身につけ、簡単な日常会話や、自分のことについて表現できるコミュニケーション力を養成します。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入。授業の概要説明。簡単な自己紹介
第2回	第1課 あいさつ・自己紹介 : 動詞の現在人称変化(規則変化動詞)
第3回	第1課 動詞の現在人称変化(sein) : 疑問文の種類と答えかた
第4回	第2課 人を誘うときの表現 : 動詞の現在人称変化(haben, 不規則変化動詞)
第5回	第2課 時を表す表現 / 食べ物 : ドイツ語の語順
第6回	第3課 所持品: 名詞の性, 冠詞
第7回	第3課 家族のこと : 所有冠詞
第8回	第4課 買い物で用いる表現 : 名詞と冠詞の3格
第9回	第4課 人称代名詞の格変化
第10回	第5課 週末の予定 : 分離動詞
第11回	第5課 一日の行動の表現 : 話法の助動詞
第12回	第5課 非人称の表現
第13回	夏休みの予定
第14回	授業のまとめ
第15回	まとめとふり返し
第16回	夏休みは何をした? 文法ふりかえり
第17回	第6課 過去の出来事を話す : 動詞の三基本形
第18回	第6課 過去の出来事を話す : 現在完了の作り方
第19回	第6課 過去の出来事を話す : 位置の表現・前置詞
第20回	第7課 過去の出来事の表現: 過去時制の作り方
第21回	第7課 過去の出来事の表現: 過去時制
第22回	第8課 病気: 副文
第23回	第8課 計画: 再帰代名詞
第24回	第9課 修理: 受動文
第25回	第9課 家事: 形容詞の用法
第26回	第10課 別れ : 接続法
第27回	第10課 非現実の表現
第28回	非現実のことを話す
第29回	授業のまとめ
第30回	まとめとふり返し

授業計画コメント

テキストの文法を習得すると共に、それを使ってドイツ語での表現ができるように練習していきます。

授業方法(対面授業の場合)

パートナー練習を中心に表現練習をくりかえし行って、ドイツ語による表現能力を高めていきます。随時視覚的題材をとりいれて、ドイツとヨーロッパに関する理解を深めていきたいと考えています。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔授業になった場合は、Zoom、manabaを使用します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

文法事項を復習しておくこと

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト	35 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	授業への積極的な参加度
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等)、学年末試験、中間的な確認度テストを総合的に勘案して評価します

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内にフィードバックします

教科書

アプファールト・ノイ スキットで学ぶドイツ語,飯田道子・江口直光,三修社,2015,9784384122817

参考文献コメント

授業のはじめに辞書を紹介しますので、必携のこと。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100117	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)17		
副題	コミュニケーションで学ぶ基礎ドイツ語		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

文法の基礎を学びながら、ペアワークやグループワークで実践的な会話練習を行い、ドイツ語の「聞く」「話す」「読む」「書く」力を総合的に養っていきます。文法としては、現在完了形・過去形までを扱います。ドイツの文化や生活にも親しみがもてるよう、ドイツの年中行事なども随時、紹介していきます。

到達目標

ドイツ語圏で買い物をしたり、公共交通機関で移動したりできるようになる。小さな困りごと(道を尋ねる、薬局で薬を買うなど)はドイツ語で解決できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、基本的な挨拶、発音
第2回	自己紹介(名前、出身地、居住地等)
第3回	調子を尋ねる、数字(～10 000)
第4回	国と言語
第5回	大学の専攻や授業について話す
第6回	好きな食べ物
第7回	食文化
第8回	趣味と余暇①
第9回	趣味と余暇②
第10回	第1学期前半のまとめ
第11回	家族・親戚
第12回	家族を紹介する
第13回	持ち物
第14回	買い物をする
第15回	第1学期のまとめ
第16回	夏休みの出来事①
第17回	夏休みの出来事②
第18回	住まいについて話す①
第19回	住まいについて話す②
第20回	時刻表現
第21回	一日の行動、「時」の表現
第22回	第2学期前半のまとめ
第23回	道を尋ねる、道案内をする
第24回	公共交通機関にまつわる表現
第25回	したいこと・する予定のこと①
第26回	したいこと・する予定のこと②
第27回	思い出話①
第28回	思い出話②
第29回	天気
第30回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

各学期に2～3回程度、単語テストや小テストを行います。

授業方法(対面授業の場合)

演習形式

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを使用した同時配信型授業を行います。WebClassを併用し、資料の配付や課題の回収をする予定です。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、その日の授業で扱った内容に関する宿題を出します。宿題には必ず取り組み、理解できていない箇所がないか確認をしてください。(1~2時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各学期の期末試験、授業内に行う単語テスト・小テスト、および授業参加度から総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

単語テストおよび小テストは授業中に返却・解説されます。

教科書

新・スツェーネン1,佐藤修子他,三修社,初,2022,978-4-384-12308-1

新・スツェーネン1 ワークブック,佐藤修子他,三修社,初,2017,978-4-384-12294-7

教科書コメント

充実した練習問題を通じ、実践的に「聞く」「話す」「読む」「書く」力が身につくように工夫された教科書です。

参考文献

クラウン独和辞典,三省堂,第5,2013,978-4-385-12011-9

アクセス独和辞典,三修社,第4,2021,978-4-384-06000-3

参考文献コメント

初級から中級学習者向けの辞書です。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100118	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)18		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	岡田 啓美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

やさしいドイツ語の文章を読み、練習問題をこなすことによって、初級ドイツ語の発音、文法の定着を目指し、会話力を養成する。同時にビデオ上映などを交えて、ドイツおよびドイツ語圏の国々についての理解も深めたい。

到達目標

ドイツ語の基本構造、発音を学び、辞書の助けを借りてドイツ語でコミュニケーションを取れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツについて(DVD鑑賞)、辞書の紹介、アルファベット
第2回	アルファベット、発音の基本、DVD鑑賞
第3回	発音練習、数詞、ドイツ語のあいさつ
第4回	動詞の現在人称変化、DVD鑑賞(ドイツとEU)
第5回	テキスト講読、自己紹介
第6回	名詞の性と冠詞
第7回	テキスト購読、DVD鑑賞
第8回	名詞の性と格変化、複数形
第9回	テキスト購読、DVD鑑賞(ベルリン)
第10回	不規則動詞、命令形、人称代名詞の3、4格
第11回	テキスト購読
第12回	前置詞、テキスト購読
第13回	第1学期の総まとめ、DVD観賞
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	学期末試験返却、第1学期の復習、DVD観賞(オクトーバーフェスト)
第17回	冠詞類
第18回	テキスト購読、DVD鑑賞(ドイツ再統一)
第19回	分離動詞・非分離動詞、副文
第20回	話法の助動詞、テキスト購読
第21回	テキスト購読
第22回	テキスト購読、DVD鑑賞(ベルリンの壁崩壊)
第23回	動詞の三基本形、過去形
第24回	テキスト購読
第25回	現在完了
第26回	テキスト購読
第27回	再帰表現
第28回	第2学期のまとめ。ドイツのクリスマスについて(DVD・CD観賞他)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

テキストの購読、練習問題を学生諸君にやってもらうとともに、会話のペア練習も随時行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomまたはwebclassのチャットによる同時双方向授業

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次回授業で学生諸君にやっってもらおう練習問題や課題を指示するので、指示された範囲はきちんと答えられるように準備していくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 小テスト、提出課題等は履修人数、進度によって実施の有無・回数が変わってきますが、これらは平常点として評価します。レポート:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は後期初回授業時に返却し、前期の復習に活用します。レポート(夏休みの課題)は後期授業中に返却・解説を行います。

教科書

イン・ドイチュラントドイツ語インフォメーション映像付き,秋田静男・江口陽子他,朝日出版,2016,978-4-255-25388-6

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100119	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)19		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

この授業ではドイツ語を初めて学ぶ人を対象に、簡単な会話表現やDVD教材を用いた聞き取り、発音の練習をしていきます。また、使用するDVD教材にはドイツの日常風景がテーマごとに収録されており、語学学習と同時にドイツ語圏の文化や社会について関心をもってもらうことも目的としています。少しでも第二外国語学習のモチベーションを高めてもらうために、できるだけ無理なく楽しく授業していきたいと思えます。

到達目標

- ・ ドイツ語の発音規則を理解し、つづりを見て正しく発音できるようになること
- ・ 短い会話を聞き取り、スペルを正しく書き取ることができるようになること
- ・ 1～2分程度の簡単な自己紹介(名前、出身、趣味など)が、ドイツ語でできるようになること

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット
第2回	ドイツ語発音の基本的な規則
第3回	Lektion 1 Markt (1) 市場(1)
第4回	Lektion 1 Markt (2) 市場(2)
第5回	Lektion 2 Bier und Wein (1) ビールとワイン(1)
第6回	Lektion 2 Bier und Wein (2) ビールとワイン(2)
第7回	Lektion 3 Drinnen und draußen (1) 中と外(1)
第8回	Lektion 3 Drinnen und draußen (2) 中と外(2)
第9回	Lektion 4 Sehenswürdigkeiten (1) 名所(1)
第10回	Lektion 4 Sehenswürdigkeiten (2) 名所(2)
第11回	Lektion 5 In der Stadt (1) 町中で(1)
第12回	Lektion 5 In der Stadt (2) 町中で(2)
第13回	ドイツ映画鑑賞(前半)
第14回	ドイツ映画鑑賞(後半)、1学期の振り返り
第15回	まとめ
第16回	Lektion 6 Alte Städte (1) 旧市街(1)
第17回	Lektion 6 Alte Städte (2) 旧市街(2)
第18回	Lektion 7 Brot (1) パン(1)
第19回	Lektion 7 Brot (2) パン(2)
第20回	Lektion 8 Fußball (1) サッカー(1)
第21回	Lektion 8 Fußball (2) サッカー(2)
第22回	Lektion 9 Berlin (1) ベルリン(1)
第23回	Lektion 9 Berlin (2) ベルリン(2)
第24回	Lektion 10 Kulturvielfalt (1) 文化の多様性(1)
第25回	Lektion 10 Kulturvielfalt (2) 文化の多様性(2)
第26回	Lektion 11 Weihnachten クリスマス
第27回	Lektion 12 Umwelt 環境
第28回	ドイツ語自己紹介練習
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

ペアワークやグループワークを中心に、発音に重点を置いた練習を行います。また、映像教材や音声教材などにより、簡単なドイツ語を聞き取れるように練習します。各Lektion終了時に、聞き取りや会話を主とした小テストを行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

オンライン授業期間中は教員によるサポートのもと、教科書の解説や練習に沿って学習指導を進めていきます。各週、授業開始時間前後にWebClassを通じて解説資料ならびに学習指示を出しますので、それに従って学習を進めてください。またWebClass内の掲示板やメッセージ機能にて、授業時間内であれば即座に、それ以外の時間帯でもできるだけすぐに教員からレスポンスしますので、疑問点や質問などがあれば随時してください。また、受講者同士で疑問点や困った点などを共有できるように、提出課題内にコメントや質問を書き込んでもらうようお願いしています。コメントには翌週の授業資料内にてコメント返しを行います。対面では言いづらい・聞きづらいことでも、情報共有時には匿名での公開となりますので、遠慮なくコメントしてもらえると積極的な授業参加に繋がることと期待しています。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

小テスト準備(30分)、宿題(30分)

(オンライン授業の場合)前回資料を振り返り、索引やノートを作成することで情報を自分なりにまとめておくこと(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	80 %	毎回ごとに課される課題に対する評価
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	20 %	ドイツ語での口述試験(オンライン:ドイツ語作文)

成績評価コメント

- ・ 対面形式の場合、毎回ごとに実施する小テストが主な成績評価対象となりますので、必ず毎回受験するようにしてください。授業冒頭の15分間程度で行います。
- ・ 期末課題として、ドイツ語による口述試験を行います。「ドイツ語で自分の事について2分間程度話す」というのが課題です。そのための表現練習を1年間通して授業内で行いますので、授業にきちんと参加さえしていれば簡単にクリアできます。頑張りましょう。
- ・ オンライン授業においては、各回課題を出しますので、それを提出してもらい、評価します。オンライン授業回数の1/3以上未提出があった場合、履修意思が無いものとみなし、不合格とします。なお、提出課題の遅切は厳守とし、特別な事情が無い限りは遅延は認めません。対面での小テストの実施が難しい場合、下記の通りの成績評価配分とします:
提出課題(80%):期末課題(20%)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- ・ 対面授業の場合、グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。
- ・ オンライン授業の場合、授業資料を通じて課題解説を行い、また受講者からのコメントや質問については、WebClass上の掲示板やメッセージ機能、あるいは授業資料を通じて情報共有します。

教科書

ドイツ・サラダ[DVD付],保阪良子,朝日出版社,2010,9784255253336

参考文献コメント

ドイツ語辞書は必ず購入・持参すること。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

対面授業・オンライン授業いずれの場合でも、WebClass上の掲示板やメッセージ機能を通じて連絡をしてください。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100120	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)20		
副題	自己表現のためのドイツ語		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	鎌倉 澄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

初学者を対象とする授業です。日常に起こりうる様々なシチュエーションでコミュニケーションができるよう、話す、書く、聞く、読む能力を総合的に養成します。文法はコミュニケーションに必要と思われるものを随時確認しますが、原則として他に文法の授業を受講してください。ドイツ語学習を通して、自分自身の世界を広げましょう。

到達目標

自分と自分の身の回りのことについてドイツ語で表現できるようになる。身近な話題について、他の人と対話ができるようになる。ドイツ語で書かれた比較的平易な文章を読み、理解することができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入①:ドイツ語とドイツ語圏、挨拶、授業で使う表現
第2回	第1課:自己紹介と相手の情報を尋ねる文(1人称、2人称、疑問詞)
第3回	第1課:飲み物の注文、好きな飲み物(応用表現)
第4回	小テスト、復習(練習を通して更なる定着を図ります) 第1課:人と知り合う①
第5回	第1課:人と知り合う②(疑問文と答え方、応用練習)
第6回	小テスト、復習 第2課:挨拶、親しい間柄の人との会話①(2人称親称)
第7回	第2課:親しい間柄の人との会話②、数(不規則動詞)
第8回	第2課:第三者の紹介(3人称、不定詞句から文を作る)
第9回	小テスト、復習 第3課:身近なものの名称(名詞、名詞の性)
第10回	第3課:私の部屋(名詞の1格と4格)
第11回	第3課:行き先表現
第12回	小テスト、復習 時刻の表現 第4課:助動詞を使った文①(したいこと、しなければならないこと)
第13回	第4課:助動詞を使った文②(していいこと、してはいけないこと)
第14回	第1学期理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	夏期課題発表 第5課:不定詞句から文を作る
第17回	第5課:一週間のスケジュール(曜日、分離動詞)
第18回	第5課:身近なものに対する意見(形容詞、人称代名詞4格)
第19回	第6課:待ち合わせの場所(前置詞)
第20回	第6課:ピクニックへの持ち物(名詞の複数形)
第21回	小テスト、復習 第7課:コンパの後で(現在完了)
第22回	第7課:昨日の出来事(現在完了練習)
第23回	第8課:クリスマス(読解)、プレゼントを贈る(3格と4格)
第24回	小テスト、復習 第9課:大晦日の晩(読解)
第25回	第9課:大晦日と新年(受動態)
第26回	第10課:休暇と旅行(副文)
第27回	第11課:お別れパーティー(過去形)
第28回	第12課:願望(接続法)
第29回	第2学期理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

上記授業計画はあくまで予定です。参加者の状況によって、進度・内容共に変更することがあります。

授業方法(対面授業の場合)

グループワーク、ペアワーク中心に、ドイツ語を使いながら覚えていきます。個人やグループでの発表も毎回あります。

授業方法(遠隔授業の場合)

万が一の状況に備えて、Zoomによる同時双方向授業の実施も考慮に入れています。対面・遠隔ともに同様の授業内容です。対面実施の際にZoomで参加する場合は遅刻・早退扱いになります。詳細は初回授業で確認してください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回必ず復習を行ってください。出てきたフレーズを声に出してみたり、実際に使ってみたり、また自分の状況を当てはめて言い換えたり(書き換えたり)してみましょう。発音が心配ならCDを聞いて確認しましょう。指示された課題は、30分以内でこなせる内容ですので、授業前までに必ずやっておいてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への参加度、課題への取り組み状況、小テストの結果を点数化して平常点とします。学年末、学期末の試験(課題)には、個人発表・グループ発表が含まれます。

全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価はしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題、および試験については、授業内、または学習プラットフォームMoodleを利用してフィードバックします。

教科書

自己表現のためのドイツ語1<プラス>,板山真由美、塩路ウルズラ、元河裕子、吉満たか子,三修社,2020,978-4-384-12303-6 C1084

参考文献コメント

授業中に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

学習プラットフォーム「Moodle」を利用します。大学のネットワークにログインできるよう、アカウントを取得しておいてください。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100121	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)21		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 対面授業		

授業概要

会話形式の練習を通して、ドイツ語の表現を習得を試みます。

到達目標

発話・聞き取り練習によりドイツ語運用能力の基礎を身に付け、簡単な会話ができるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス ドイツ語の単語の発音について(1)
第2回	ドイツ語の単語の発音について(2)
第3回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(1)
第4回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(2)
第5回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(3) 自分や他人の紹介をする練習(1)
第6回	自分や他人の紹介をする練習(2)
第7回	自分や他人の紹介をする練習(3) 自分の持ち物について話す練習(1)
第8回	自分の持ち物について話す練習(2)
第9回	自分の持ち物について話す練習(3) 買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(1)
第10回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(2)
第11回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(3) 家族のことを紹介する練習(1)
第12回	家族のことを紹介する練習(2)
第13回	家族のことを紹介する練習(3) 文法事項の確認練習
第14回	まとめ
第15回	全体の振り返り
第16回	自分の好きなことについて話す練習(1)
第17回	自分の好きなことについて話す練習(2)
第18回	自分の好きなことについて話す練習(3) 衣服や身の回りの品物について話す練習(1)
第19回	衣服や身の回りの品物について話す練習(2)
第20回	衣服や身の回りの品物について話す練習(3) 位置関係を説明する練習、道案内をする練習(1)
第21回	位置関係を説明する練習、道案内をする練習(2)
第22回	時刻の表現練習 休暇について話す練習(1)
第23回	休暇について話す練習(2)
第24回	休暇について話す練習(3) 体にかかわること、体調について話す練習(1)
第25回	体にかかわること、体調について話す練習(2)
第26回	体にかかわること、体調について話す練習(3) 過去の出来事を話す練習(1)
第27回	過去の出来事を話す練習(2)
第28回	過去の出来事を話す練習(3) 文法事項の確認練習
第29回	全体の振り返り
第30回	まとめ

授業方法(対面授業の場合)

グループワークならびに講義

授業方法(遠隔授業の場合)

オンデマンド型授業

WebClass を通して教材を配信します。

課題提出によって到達度の確認が行われます。

また、WebClass の出席確認機能によって、出席確認がなされます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所に目を通して、練習内容を確認しておいてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	対面試験実施不可能の場合はレポート
学年末試験(第2学期)	25 %	対面試験実施不可能の場合はレポート
中間テスト	20 %	対面試験実施不可能の場合はレポート
レポート		
小テスト	15 %	対面授業実施不可能の場合はレポート
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	対面授業実施不可能の場合はレポート
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、グループワーク、課題提出がポイントとなります。

進度に応じ、中間テスト、小テストを行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて、返却します。

教科書

クラッセ！ ノイ 初級ドイツ語総合読本(CD付),谷澤優子、白木和美、ガブリエラ・シュミット,白水社,2018,9784560064214

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向きとして以下の辞書があげられます。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100122	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)22		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語初学者のための授業です。ドイツ語の会話表現を身につけることを目標とします。基本的な文法もおさえつつ、日常的な表現を覚えていきましょう。

到達目標

ドイツ語の基本的な会話表現を学び、活用できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定、授業の進行についてのガイダンス、ドイツ語の文字や発音についての簡単な説明を行います。
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介
第3回	Lektion 1 人称変化
第4回	Lektion 2 専攻、職業、国籍
第5回	Lektion 2 人称変化3人称
第6回	Lektion 3 持ち物、数詞
第7回	Lektion 3 冠詞類
第8回	Lektion 4 食べ物、飲み物
第9回	Lektion 4 冠詞類4格
第10回	Lektion 5 家族
第11回	Lektion 5 所有冠詞、人称代名詞
第12回	Lektion 6 趣味、動詞
第13回	Lektion 6 不規則変化動詞、命令形
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	既習事項の復習
第17回	Lektion 7 休暇
第18回	Lektion 7 話法の助動詞
第19回	Lektion 8 服装、贈り物
第20回	Lektion 8 3格を使った表現
第21回	Lektion 9 建物、街
第22回	Lektion 9 前置詞を使った表現
第23回	Lektion 10 1日の行動、時刻
第24回	Lektion 10 分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞
第25回	Lektion 11 身体、病気
第26回	Lektion 11 過去形、現在完了形
第27回	Lektion 12 天候
第28回	Lektion 12 従属接続詞、比較級・最上級
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

受講者の理解度によって実施回は前後することがあります。社会の状況によってはすべて遠隔授業に切り替える可能性があります。

授業方法(対面授業の場合)

授業ではパートナー練習や音声メディアを使ったヒアリング等を行います。原則として予習は必要ありませんが、その分受講者には集中して授業を受けることが求められます。コミュニケーション能力は語学力だけによるものではありません。積極的に授業に参加しましょう。(教室内での社会的距離は十分にとることになります。)

授業方法(遠隔授業の場合)

大学外WebサービスのZoomを使います。ペア会話練習はZoomのブレイクアウトルーム機能を使って行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習として授業内で練習した会話表現を、最低1回は実際に声に出して発音してください。また、教科書内の問題を復習の課題として指定することがあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	WebClass上のテストに代替
学年末試験(第2学期)	35 %	WebClass上のテストに代替
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	WebClass上のテストに代替
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学習した事項が試験・小テストで出題されます。

授業内の会話練習に対してあまりにも消極的な態度が見られた場合は平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語 ノイ,新倉真矢子, 亀ヶ谷昌秀, 正木晶子, 中野有希子,第三書房,初版,2015,978-4-8086-1190-3

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,第3版,2010,978-4-384-01234-9

クラウン独和辞典,濱川祥枝,信岡資生,新田春夫,三省堂,第5版,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。自学自習のためにも必要です。特に指定はしませんが必ず辞書は購入しましょう。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100123	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)23		
副題	ミュンヘンからドイツ語の世界へ		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語入門者対象のクラスです。ミュンヘンをテーマにしたDVD映像・会話を軸にして入門ドイツ語の世界にはっていきます。授業では、基本的な文法事項をおさえてから、文法問題、話す練習、発音練習、読解問題を織り交ぜていきます。

到達目標

ドイツ語技能検定試験4級合格程度の力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業の進め方についてのガイダンス、発音
第2回	教科書の構成・音声ダウンロードの紹介、挨拶表現、自己紹介の練習
第3回	第1課 動詞の現在人称変化(1)、語順、「ミュンヘン」
第4回	第2課 名詞の性と数、「ドイツの位置」
第5回	第2課 名詞の格変化、「ドイツ語圏」
第6回	第3課 名詞の複数形、「典型的な朝食とは？」
第7回	第3課 複数形の格変化、「ドイツの朝食」
第8回	第4課 動詞の現在人称変化(2)、「ミュンヘンの名物料理」
第9回	第4課 人称代名詞の格変化、「ビール」
第10回	第5課 前置詞(1)、「マリーエンプラッツ」
第11回	第5課 前置詞(2)、「読書」
第12回	第6課 所有冠詞の格変化、「ミュンヘン大学」
第13回	第6課 否定表現、「ショル兄弟」
第14回	授業のまとめ
第15回	到達度確認
第16回	第7課 分離動詞、「英国庭園」
第17回	第7課 接続詞、「パーティー」
第18回	第8課 話法の助動詞(1)、「ドイツ博物館」
第19回	第8課 話法の助動詞(2)、「自動車」
第20回	第9課 動詞の3基本形(1)、「ブンデスリーガ」
第21回	第9課 動詞の3基本形(2)、「スポーツクラブ」
第22回	第10課 現在完了(1)、過去分詞、「美術館」
第23回	第10課 現在完了(2)、「オクトーバーフェスト」
第24回	第10課 現在完了(3)、「民族衣装」
第25回	第11課 比較級・最上級、「アドベント」
第26回	第11課 zu不定詞、「クリスマス」
第27回	第12課 受動態、「環境問題」
第28回	第12課 再帰表現、「観光都市ミュンヘン」
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度確認

授業計画コメント

履修者の理解度に応じて進めていきます。そのため、上記に挙げた項目全てを取り上げない場合もあります。また、教科書から離れた会話練習や作文練習なども行う可能性もあります。

授業方法(対面授業の場合)

全体説明、個別・ペア・グループなどテーマや練習に合わせて作業形態を変えていきます。発音を重視しますので、ある程度の音量およびスピードで正確に発音することを求めます。

授業方法(遠隔授業の場合)

WebClassの「会議室」のチャット機能を利用し、木曜3限の時間帯にリアルタイムで授業をします。キーボードで日本語なりドイツ語を速く打てるようになりましょう。発音確認・練習のために、月に1回Zoomを利用した授業を行います。ネット接続の負担を避けるためカメラOFF、共有画面と音声のみで行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

対面授業の場合、毎回、次のような宿題を出します。1) 会話や読解文等のテキストをすらすらと音読する。2) 文法問題。3) 読解文等の和訳。宿題は全員ができてくることを前提とします。

遠隔授業の場合も毎授業後に宿題を課します。期日を守って提出していただきます。提出をもって授業出席とします。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	毎授業後に課す宿題の提出および内容
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	70 %	毎授業後に課す宿題の提出および内容
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

対面授業では、積極的な授業参加(発言や質問)、発音の練習をきちんとしているかどうか、小テストの結果を総合的に判断して成績評価をします。遠隔授業の場合は、毎授業後の宿題の提出および内容、授業中の積極的な発言や質問を参考にします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

対面授業の場合、小テストの解答は返却し、ミスが多かった事項については授業中に解説します。音読はひとりずつ全員に発音していただきます。

遠隔授業の場合、宿題の正解および説明をWebClassにアップしますので、それに必ず目を通し自分が提出した回答と比較検討してください。質問は授業中にいつでも受けつけます。

教科書

ミュンヘンに夢中、アンドレア・ラープ、石井学、石井寿子、保阪靖人、保阪良子、同学社、4,2020,978-4-8102-0744-6

教科書コメント

教科書は必ず購入してください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

WebClassの「お知らせ」機能を利用してください。学生の皆さんへの連絡も同様にWebClass(あるいはG-Port)を利用します。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101101	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)1		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	METZING, Ronald Helmut Er		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 5時限 対面授業		

授業概要

授業の重点は日常的なコミュニケーションを問題なく行うための発音練習、身近な事柄についての口頭でのやりとりです。また授業ではドイツ語のみで行われます。グループワーク、インタビュー等の口頭での活動の他、初級ドイツ語を確実にしさらにステップアップするための他の3つの言語能力(聞く、書く、読む)も訓練します。また、文法の要素も重要不可欠です。学生には授業への積極的な参加が要求されます。また、簡単な宿題を出します。

到達目標

日常的に頻繁に使用される表現や簡単な文章を理解し、使用できる。自己と他者の紹介をすることができる。他者に身の回りのことについて質問することができ、(どこに住んでいるか、どんな人と知り合いか、何を持っているかなど)そのような質問に答えることができる。相手がゆっくりとはっきり話をすれば理解することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	自己紹介、IXページ 最初の授業、94-95ページ 第8課職業
第2回	Seite 96-98 A 理学療法士、B いつ職業教育を受けましたか。
第3回	Seite 99-101、C 私はまだ…、D インターンシップ市場とアルバイト市場、E 電話口で。
第4回	Lektion 9. Seite 106-108 旅の途上で A 申込書に記入しなければなりません。
第5回	Seite 109-111、B 見て！、C あなたは運転できます、D インフォメーションパンフレット。
第6回	Seite112-113 D 部屋の予約。
第7回	Lektion 10, Seite 118-120, 健康と病気、A あなたの目がいたい。
第8回	Seite121-123 B 私たちの目はとても青い、C 鎮痛剤を飲むように言われています、D 問い合わせ。
第9回	Seite 124-125, D4 Eメールを読んでください、E 会う約束。
第10回	Lektion 11, Seite 130-132 町中で、A 次を左に曲がってください。
第11回	Seite 133-134 B 私たちは車でいきます、C 橋の手前を左です。
第12回	Seite 135-136 D 私たちはヴァルタのところへ行きます。
第13回	Seite 137 E 駅で。
第14回	テスト
第15回	フィードバック
第16回	復習 第8課-第11課
第17回	Lektio 12 Seite 142-144 顧客サービス、A 講習のすぐあとに…。
第18回	Seite 145-147 B 1か月後に入ります、C それを少し見せていただけますか、D 電話での情報。
第19回	Seite 148-149, E 日常のサービス。
第20回	Lektion 13 Seite 154-156, 新しい服、A ララ、あそこのジャケットを見て！すごく素敵じゃない。
第21回	Seite 157-159 B そのジャケットはあなたにぴったりだわ、C で、これは、こっこのほうがいい。
第22回	Seite 160-161 D どれ？これ、E デパートで。
第23回	Lektion 14 Seite 166-168, パーティー、A 1月15日に…。
第24回	Seite 169, B おじいちゃん、大好き！
第25回	Seite 170 C 送別会をします。
第26回	Seite 171 D 招待。
第27回	Seite172-173 お祝いとお祝いの言葉
第28回	復習 第12課-第14課
第29回	テスト
第30回	フィードバック

授業方法(対面授業の場合)

演習...ペアワークによる会話練習

授業方法(遠隔授業の場合)

ZOOMによるオンラインになります。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

予習...単語を調べる、復習...テキストを読み内容を理解する(1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	60 %	オンラインテスト
学年末試験(第2学期)	60 %	オンラインテスト
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の積極的な参加を重視。テストはテキストの範囲内で出題。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは返却し、最終授業で解説を行う。

教科書

Schritte International neu 2,D. Niebisch,9783196010824

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101102	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)2		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらにドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。教科書は、実践的でカフフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	仕事について話す
第2回	過去と現在についての情報交換、過去の行動についての報告
第3回	広告を読む
第4回	指示をする
第5回	アドバイスをする
第6回	許可されていることと禁止されていることについて話す
第7回	情報誌を理解する、ホテルの受付での会話
第8回	体の部分
第9回	外見を描写する
第10回	手紙を書く
第11回	会う約束をする
第12回	道を尋ねる
第13回	場所を指示する
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	場所と方向を規定する
第17回	時刻表とアナウンスを理解する、駅で情報を求める
第18回	日付を理解する、言う
第19回	サービスを頼む
第20回	丁寧な依頼
第21回	電話のアナウンスを理解する
第22回	洋服、満足と不満を言い表す
第23回	好みと評価を言い表す
第24回	デパートでの会話
第25回	日付を尋ねる、言う
第26回	人や物について話す
第27回	理由を述べる
第28回	お祝いを述べる
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

すべて対面授業で行う予定ですが、対面授業ができない場合にはZoomで行います。

授業方法(対面授業の場合)

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペーパー練習、グループ練習も行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomで対面授業と同じ内容を扱います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

その週に習ったことを毎日くり返して復習してください。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

Schritte international Neu 2 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch, Daniela Niebisch, Hueber, 978-3-19-601082-4

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101103	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)3		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	BRIEL, Rita		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 対面授業		

授業概要

これまで学んだことをしっかり身につけ、深めます。ドイツ語を聞き取り、話すことを学びます。ドイツの日常的な文化を知り、理解することを学びます。

到達目標

例えば、仕事、外国旅行、体と健康、買い物、ファッション、休暇に関係する中級レベルのドイツ語を聞き取り、話し、読むために必要な技能が身につきます。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	授業の説明、自己紹介、文法の復習（特に動詞、代名詞、冠詞）
第2回	第1課 Beruf und Arbeit 教科書の説明、単語のリスト、sein, heißenの過去形
第3回	復習15分 第1課 前置詞（時間）、練習
第4回	復習15分 第1課 前置詞, Beruf und Arbeitについてのテキスト
第5回	復習15分 第2課 In einer fremden Stadt、単語のリスト、話法の助動詞
第6回	復習15分 第2課ホテルでの会話、Touristeninformation、代名詞 man、練習
第7回	テスト
第8回	復習15分 第10課 Gesundheit、単語のリスト、所有冠詞、手紙を書く
第9回	復習15分 第10課 医者での期日を決める、体の部分 練習
第10回	復習15分、第11課 In der Stadt unterwegs、単語のリスト、地図を読む、前置詞（場所、方向）、道の案内
第11回	復習15分、第11課、前置詞の練習
第12回	復習15分、第11課、前置詞の練習
第13回	復習15分、教科書のエキストラページを読む
第14回	復習15分、第10、11課、練習
第15回	テスト第10、11課
第16回	第12課 Der Kunde ist König、前置詞（時間）、敬語
第17回	復習15分 第12課、分離動詞、買い物の会話
第18回	復習15分 第12課の練習
第19回	復習15分 第13課 Mode、単語のリスト、gefallen、疑問代名詞
第20回	復習15分 第13課 3格の人称代名詞、3格を取る動詞
第21回	復習15分 第13課 練習
第22回	テスト 第12、13課
第23回	第13課 形容詞の比較級、指示代名詞
第24回	復習15分、第13課練習
第25回	復習15分、第14課Feste、単語のリスト、序数、接続語 denn、動詞 werden
第26回	復習15分、第14課、日付の練習、4格の代名詞
第27回	復習15分、第14課、練習、映画前半
第28回	復習15分、映画後半
第29回	復習第13、14、15課
第30回	テスト

授業方法(対面授業の場合)

授業方法(対面授業の場合) / Teaching Method (face-to-face lessons)
教科書を基にして練習をします。

授業方法(遠隔授業の場合)

授業方法(遠隔授業の場合) / Teaching Method (online lessons)
ZOOM 教科書を基にして練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

休まずに出席して下さい。毎回教科書を持ってきて下さい。しっかり勉強してテストに臨んで下さい。宿題が出されたときは期限内に提出して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行ったあとに学生に採点した試験を返します。

教科書

Schritte international Neu 2 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch: Schritte international, D. Niebisch et.al., Hueber Verlag, newest, 978-3-19-601082-4

教科書コメント

出来るだけ早く教科書を購入して下さい。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

office hour. Please contact me: ribrie26@yahoo.de

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101104	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)4		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 対面授業		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらに実践的な日常会話の習得を目指していきます。昨年度の私のC(初級)の授業「ドイツ語を話そう! 1」の既習者でなくとも、ドイツ語の初級知識がある人であれば誰でも大歓迎です。間違えを恐れず、楽しく積極的にドイツ語を話すことで、初級で学んできたことが実際に「使える!」と実感できるようになるはず。実際にドイツを訪れたり、日本でドイツ人と話すときに様々なことを表現できるよう、日常会話の中で役立つ練習を楽しく行います。ドイツの文化にも触れられるよう、授業中にドイツの音楽、映画、歴史について紹介します。またドイツ語でEメールを書く練習などもします。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

この授業を1年受講すると、おおよそ以下のことがドイツ語で出来るようになります。 1)日常生活の場面での簡単な質問や指示、短い会話を理解することができる 2)短い伝達事項や掲示、広告などから、自分にとって重要な情報を取り出すことができる 3)数字や量、時間や値段を言ったり、理解したりすることができる 4)簡単なものであれば、所定の用紙に記入することができる 5)短い個人的な文章を書くことができる 6)会話で自己紹介をしたり、質問に答えたりすることができる 7)身近な状況で質問やお願いをしたり、それらに反応したりすることができる

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 8 職業と仕事(1)
第3回	Lektion 8 職業と仕事(2)
第4回	Lektion 8 職業と仕事(3)
第5回	Lektion 9 知らない街で(1)
第6回	Lektion 9 知らない街で(2)
第7回	Lektion 9 知らない街で(3)
第8回	Lektion10 健康と体(1)
第9回	Lektion10 健康と体(2)
第10回	Lektion10 健康と体(3)
第11回	Lektion 11 道案内(1)
第12回	Lektion 11 道案内(2)
第13回	Lektion 11 道案内(3)
第14回	まとめ
第15回	総括
第16回	第1学期の復習
第17回	Lektion 12 お客様は神様(1)
第18回	Lektion 12 お客様は神様(2)
第19回	Lektion 12 お客様は神様(3)
第20回	Lektion 12 お客様は神様(4)
第21回	Lektion 13 新しい洋服(1)
第22回	Lektion 13 新しい洋服(2)
第23回	Lektion 13 新しい洋服(3)
第24回	Lektion 13 新しい洋服(4)
第25回	Lektion 14 パーティー、お祭り(1)
第26回	Lektion 14 パーティー、お祭り(2)
第27回	Lektion 14 パーティー、お祭り(3)
第28回	Lektion 14 パーティー、お祭り(4)
第29回	まとめ
第30回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみましよう。

授業方法(対面授業の場合)

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoom/Webex, Moodle

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International NEU 2 (Kursbuch + Arbeitsbuch), Daniela Niebisch, Hueber, 2016, 978-3-19-601082-4

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101105	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)5		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 遠隔授業		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。初級で習得した文法事項を復習しながら、構文・語順・語の用法などを扱う中級文法へとステップアップし、ドイツ語による、より自在な表現力を身につけていきます。同時に、ドイツ語という言語に対する興味・理解を深めていくことをも目指します。

到達目標

中級程度のドイツ語文法事項の習得、ならびに、ドイツ語による表現力・作文能力の向上を目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	はじめに・既習事項のチェック
第2回	接続法第1式
第3回	接続法第2式
第4回	練習問題
第5回	語順の考え方
第6回	練習問題
第7回	否定の仕方
第8回	練習問題
第9回	従属文
第10回	関係文
第11回	練習問題
第12回	zu不定詞句の使い方
第13回	練習問題
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	受動態
第17回	練習問題
第18回	再帰動詞
第19回	練習問題
第20回	動詞や形容詞と特定の前置詞の組み合わせ、など
第21回	練習問題
第22回	形容詞の名詞化
第23回	練習問題
第24回	分詞の用法・冠飾句
第25回	練習問題
第26回	冠詞の使い方
第27回	練習問題
第28回	機能動詞構造
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方法(対面授業の場合)

受講者が課題に対し解答し、それに解説を加える形で進めます。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomを用いたリアルタイム遠隔授業を行います。動画は用いず、画面共有と音声のやり取りで進めますので、必要なデータ通信量はさほど多くないですが(1回につき50-100MB程度)、受講する人はあらかじめ必要な環境を整えておいてください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

教材に説明されている文法事項に目を通し、ドイツ語の例文を読み、作文その他の課題の解答を考えてきて下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書コメント

教材はプリントを使用します。初級で使った文法の教科書と辞書は必ず毎回持参して下さい。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101106	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)6		
副題	ドイツ語中級文法・作文		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 対面授業		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。
1年次に学習した初級文法では深く追えなかった一歩進んだ文法・表現を学習します。復習にせよ新たに学ぶにせよ、どんな文法事項も自分自身がドイツ語で表現したり、ドイツ語の文を読んだりするときに実際に使えるかどうか重要です。

到達目標

ドイツ語文法への理解を深め、読解・作文に生かせるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	時制、文
第2回	並列接続詞、man
第3回	語順(1)
第4回	分離動詞(1)、完了形
第5回	否定
第6回	接続法I、間接話法
第7回	接続法II、非現実話法
第8回	否定
第9回	冠詞
第10回	語順(2)
第11回	従属接続詞
第12回	関係文
第13回	前置詞(1)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	前置詞(2)
第17回	分離動詞(2)
第18回	分詞、冠飾句
第19回	視点の取り方
第20回	3格、再帰動詞
第21回	無生物主語
第22回	話法の助動詞
第23回	心態詞
第24回	形容詞の名詞化、派生語
第25回	論理展開
第26回	前置詞と動詞、形容詞の組み合わせ
第27回	機能動詞
第28回	〃
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

以上の授業予定はあくまでも学習項目の目安です。順番や学習時間数は参加者の様子を見て適宜変更します。

授業方法(対面授業の場合)

授業中は文法事項の解説と、課題として指定した練習問題の解説・答え合わせを行います。指名された人が黒板・ホワイトボードに解答を書き、教員に添削されます。辞書は必ず持って来て下さい。

授業方法(遠隔授業の場合)

対面と同様の授業を、大学外WebサービスのZoomとGoogleドキュメントの二つを使って行います。参加者全員で共有するドキュメントに指名された人が書き込んで答えます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業中、予習・復習になる練習問題を課題として指定するので必ずやってきてください。教科書とは別にプリントも使用します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	WebClass上の課題提出に変更
学年末試験(第2学期)	35 %	WebClass上の課題提出に変更
中間テスト		
レポート	15 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

試験では授業中に扱った項目が出題されます。普通の授業への取り組みがそのまま試験に反映されると考えましょう。平常点は、授業中の問題演習への取り組みと、与えられた課題への取り組みが評価されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後に模範解答を配布します。疑問点があれば個別に答えます。

教科書

ドイツ語を書いてみよう！[改訂版],清野智昭,白水社,2016,978-4-560-06417-7

教科書コメント

教科書の他にプリントを使用します。

参考文献

独和大辞典コンパクト版,岩崎英二郎,小野寺和夫,国松孝二,三城満禧,千石喬ほか,小学館,第2版,1999,978-4-095-15032-7

[改訂版]詳解ドイツ語文法,在間進,大修館書店,2006,978-4-469-21307-2

参考文献コメント

初級文法に自信のない者は、一年次に使用した文法の教科書を常に開けるようにしておくといいでしょ。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

この授業はドイツ語圏文化学科指定クラスなので、他学科の学生にとってはやや難易度の高い内容になりますが、一步踏み込んだドイツ語表現を学びたい学生なら誰でも歓迎します。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101107	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)7		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	大貫 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 遠隔授業		

授業概要

ドイツ語で自分が言いたいことを伝えるコミュニケーション能力を身につけるために重要なのは、ドイツ語の基本的な文章構造に慣れることです。この授業では、初級文法で学んだ知識を復習しながら、さらにワンランク上の表現力を養成します。また同時に練習問題によって、聞く力と読む力のレベルアップもはかります。それぞれの課では、ドイツの現代社会のさまざまなテーマを扱いますので、そのテキストを通じて日常的な場面でのコミュニケーションに必要な語彙力の習得も目指します。

到達目標

(1)ドイツ語のさまざまな文章構造に慣れ、それを実際に運用することができる。(2)ドイツの現代社会について話すために必要な語彙を理解し、また使うことができる。(3)話されたテキストを理解し、それについての問いに答えることができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション:授業の方針、予習の仕方、到達目標
第2回	接続法の形態と使い方(1)接続法I式
第3回	接続法の形態と使い方(2)接続法II式
第4回	語順の基本、形容詞の名詞的用法、2格の用法
第5回	テーマ:ドイツ人は家族の間でなんと呼び合うか
第6回	枠構造、前置詞つき目的語をとる動詞と形容詞
第7回	テーマ:マンションの掃除は当番制で!
第8回	外交的接続法、特別な意味を持つ前置詞、所有の3格
第9回	テーマ:ドイツ人は風呂が嫌い?
第10回	副文の短縮
第11回	テーマ:閉店法
第12回	不定関係代名詞、冠飾句
第13回	テーマ:シュワルツェネッカーとボディビル
第14回	まとめ
第15回	到達度チェック
第16回	さまざまな受動態、関係副詞
第17回	テーマ:ドイツ人が好きなスポーツ - サッカー
第18回	不定関係代名詞の名詞的用法
第19回	テーマ:オクトーバーフェスト
第20回	機能動詞構造
第21回	テーマ:大学の授業料の行方は?
第22回	さまざまな命令的表現(場面に応じた依頼の表現)
第23回	テーマ:ドイツ人の友達を作ろう
第24回	話法の助動詞の注意すべき用法
第25回	テーマ:ドイツでは離婚が多い?
第26回	esのさまざまな用法
第27回	テーマ:シュタイナー学校 - 理想の教育とは?
第28回	相関的接続詞
第29回	まとめ
第30回	到達度チェック

授業方法(対面授業の場合)

毎回の授業に必要な予習を課題として指示します。課題のチェックをグループワークで行います。テキストについては、予め作っておいた訳を發表してもらい、それについて全員で検討します。なお、ヒアリング素材については、教科書附属の素材を聞き、問いについて予め解答しておいたものを全員で検討します。また各課の終了ごとに、小テストを行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

遠隔の場合の授業方法は、対面と同じです。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

課題の予習、テキストの翻訳、ヒアリング素材を聞き解答を作成しておくこと(90分程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	発音の試験を含む
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	予習状態、クラス参加の積極性
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

学期末試験だけでなく、予習を必ずしているかどうか、また小テストで日頃から復習をしているかどうかをチェックし、評価の対象とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回の課題については、授業内でコメントをします。小テストおよび学期末試験については、評点とコメントを付して返却します。

教科書

グレードアップドイツ語、橋本政義、Bernhard Neuberger、橋本淑恵、郁文堂、6、2017、9784261012484

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業を欠席する場合には、担当教員にメール連絡をすること。また欠席した回の授業の課題は後日必ず提出すること。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821102101	科目ナンバリング	002D322
講義名	ドイツ語C(上級)		
英文科目名	German (Advanced Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

中級コミュニケーションまでに学んだことを基礎として、さらに総合的なドイツ語運用能力を身につけることを目的とします。聞き取り、発話、語彙を増やすことなど、総合的な練習をします。最初の授業で、参加者の力と興味に応じて、テキストを決定します。Schritte international の4, 6のいずれかにします。教科書が決定して届くまで、最初のうちはコピーを配布します。

到達目標

明瞭な通常のドイツ語であれば、仕事や趣味や生活など日常的な事柄についてのドイツ語の発言や文章が理解できるようにします。例えば、旅行中に出会うさまざまな出来事に対して、必要な対応ができ、また、自分の経験や夢・希望・目標などについて話すことができることを目指します。さらに、自分に身近なテーマがあれば、意見を述べたり、その論拠を説明したりできるようにします。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション。参加者と簡単な会話をしながら、教科書を決めます。コピーを配布し、授業を行います。
第2回	教科書 第1項目
第3回	教科書 第1項目
第4回	教科書 第2項目
第5回	教科書 第2項目
第6回	教科書 第3項目
第7回	教科書 第3項目
第8回	教科書 第4項目
第9回	教科書 第4項目
第10回	教科書 第5項目
第11回	教科書 第5項目
第12回	教科書 第6項目
第13回	教科書 第6項目
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	教科書 第7項目
第17回	教科書 第7項目
第18回	教科書 第8項目
第19回	教科書 第8項目
第20回	教科書 第9項目
第21回	教科書 第9項目
第22回	教科書 第10項目
第23回	教科書 第10項目
第24回	教科書 第11項目
第25回	教科書 第11項目
第26回	教科書 第13項目
第27回	教科書 第13項目
第28回	教科書 第13項目
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

すべて対面で授業をする予定です。対面授業ができない場合にはZoomで行います。

授業方法(対面授業の場合)

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomで対面授業と同じ内容を扱います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

その週に習ったことを毎日かならずくり返して復習してください。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 出席、参加態度:40% 授業への参加態度も重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書コメント

Schritte international Neu 3 もしくはそれより上級のテキスト

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照: <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821200101	科目ナンバリング	002D524
講義名	ドイツ語セミナー		
英文科目名	German (Seminar)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	4	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 対面授業		

授業概要

このセミナーでは、学生が司会をしてさまざまなテーマについて討論したり、議論を文章にまとめたりすることが中心になります。12のテーマを取り上げます。例えば「メルヒェンは残酷か?」、「お金は人を幸せにするか?」、「一神教それとも多神教?」、「100年後の日本」などです。
 時事的なテキストを使って聞き取りの練習も行います。
 成績は出席と授業態度の積極性、および学期末の筆記試験によって評価します。
 テキストはこちらで用意します。

到達目標

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)B1程度の会話力の習得を目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	Unterricht Einführung 授業導入
第2回	Kann man im Schlaf eine Sprache lernen? 語学は睡眠学習できる?
第3回	weiter
第4回	Ins Berufsleben nach der Oberschule? 高校卒業後の職業の道へ
第5回	weiter
第6回	Hörverstehen 聞き取り
第7回	Sind Märchen grausam? メルヒェンは残酷?
第8回	weiter
第9回	Monotheismus oder Polytheismus? 一神教 または 多神教?
第10回	weiter
第11回	Hörverstehen 聞き取り
第12回	Macht Geld glücklich? お金で幸せになれる?
第13回	weiter
第14回	Wiederholung 復習
第15回	Schriftliche Prüfung 筆記試験
第16回	Meine Traumwohnung 夢の住まい
第17回	weiter
第18回	Meine Traumreise 夢の旅
第19回	weiter
第20回	Hörverstehen 聞き取り
第21回	Japan in 100 Jahren 100年後の日本
第22回	weiter
第23回	Was würdest du tun, wenn du den Jackpot knacken würdest? 宝くじで大当たりしたら何をする?
第24回	weiter
第25回	Mein Buch für die Insel 島に持って行く本
第26回	Hörverstehen 聞き取り
第27回	Was würdest du machen, wenn du der letzte Mensch auf der Erde wärst? 地上で最後の人になったら、何をする?
第28回	Soll man ein Auslandsstudium machen? 留学はすべき?
第29回	Hörverstehen 聞き取り
第30回	Schriftliche Prüfung 筆記試験

授業計画コメント

すべて対面で授業を行う予定です。対面授業ができない場合にはZoomで授業を行います。

授業方法(対面授業の場合)

テキストを配布します。そのテーマについてディスカッションを行います。

授業方法(遠隔授業の場合)

Zoomで対面と同じ内容を学習します。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

ディスカッションができるように準備してきてください。具体的な予習、復習については授業時に指示します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

右記URLを参照：<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>